



平成21年度

文部科学省 防災教育支援事業  
—防災教育支援の体制作りと実践—



# 小中学校まなぼうさい教室支援事業

報告書



平成22年3月

徳島県

## 目 次

はじめに	・・・・・・・・	1
<b>I 事業概要</b>		
1 事業全体の具体的手法と期待する効果	・・・・・・・・	2
2 徳島県防災教育推進委員会	・・・・・・・・	2
3 事業代表者・個別テーマ責任者	・・・・・・・・	3
4 事業協力機関	・・・・・・・・	3
<b>II 個別テーマの成果報告</b>		
1 防災科学技術教育関連教材等の作成	・・・・・・・・	4
2 学校の教職員等を対象とした研修カリキュラムの開発・実施	・・・・・・・・	6
3 実践的な防災教育プログラムの開発・実施	・・・・・・・・	8
4 その他、地域の実情に応じた先進的な取組の実施	・・・・・・・・	12
<b>III まとめ</b>	・・・・・・・・	26
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"><b>参考資料</b></div>		
○「防災教育推進パートナー」	・・・・・・・・	29
○「防災教育推進パートナー通信」	・・・・・・・・	31
○「防災教育支援ホットライン」(相談窓口)	・・・・・・・・	37
○「小中学校まなぼうさい教室」	・・・・・・・・	39
○開発教材の実践・検証アンケート結果	・・・・・・・・	41
○避難シミュレーションゲーム概要	・・・・・・・・	45
○炊き出し訓練食材(例)	・・・・・・・・	50
○みなみ防災ウォークラリー概要	・・・・・・・・	51
○県立防災センター体験カリキュラム(例)	・・・・・・・・	54
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"><b>「小中学校まなぼうさい教室」教材集</b></div>	・・・・・・・・	57



防災教育支援事業 —防災教育支援の体制作りと実践—  
**平成21年度「小中学校まなぼうさい教室支援事業」概要**

はじめに

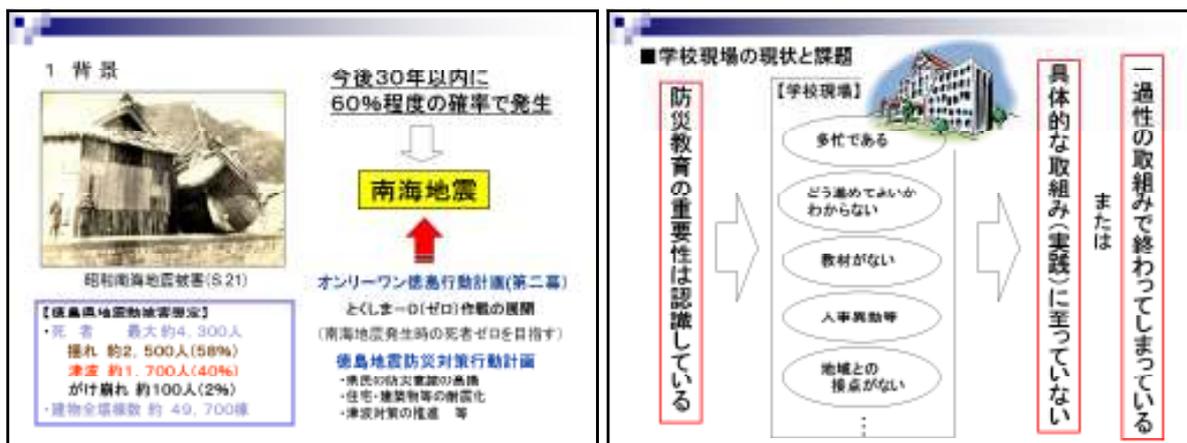
南海地震は、過去歴史的に100年から150年の周期をもって繰り返し発生し、本県に大きな被害をもたらしています。

徳島県では、この南海地震が、今後30年以内に60%程度の確率で発生し、最大で死者4,300人という、甚大な被害が想定されています。

このため、徳島県においては南海地震を、県政の運営指針である、オンリーワン徳島行動計画（第二幕）に位置づけ、「南海地震発生時の死者ゼロを目指す」という理念のもと、「とくしまー0（ゼロ）作戦」を展開し、具体的な計画の下で積極的に各種施策を推進しています。

一方、学校現場は、防災教育の重要性は認識しているものの、多忙である、どう進めてよいかわからないなど、なかなか具体的な取組に至っていない、または、一部では熱心な先生による積極的な取組もありますが、人事異動等で先生が替わると、せっかくの防災教育が途絶えるなど、一過性の取組で終わっている、というのが現状です。

このため、今後、「県立防災センター」が学校と地域や防災関係機関との橋渡しとなつて、防災教育の推進に積極的に取り組んでいきたいと考えています。



【参 考】

- 文部科学省地震調査研究推進本部 地震に関する評価 長期評価結果一覧  
 → [http://www.jishin.go.jp/main/p\\_hyoka02\\_chouki.htm](http://www.jishin.go.jp/main/p_hyoka02_chouki.htm)
- オンリーワン徳島行動計画（第二幕）  
 → <http://www.pref.tokushima.jp/docs/2007070500025/>

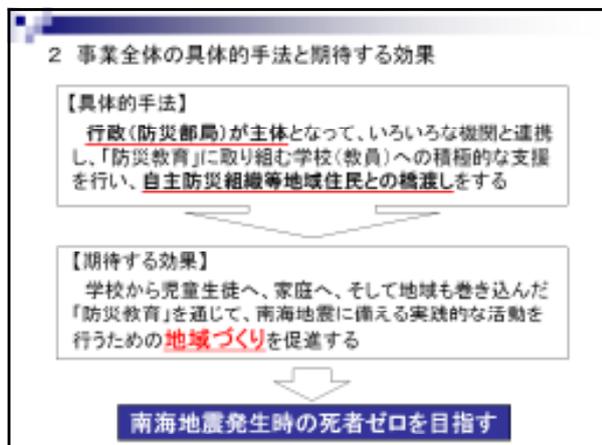
徳島県防災・危機管理情報  
 安心とくしま  
 (南海地震)

→ <http://anshin.pref.tokushima.jp/normal/earthquake/index.html>

- 徳島県地震防災対策行動計画
- 徳島県被害想定

## I 事業概要

### 1 事業全体の具体的手法と期待する効果



「小中学校まなぼうさい教室支援事業」により、行政の防災部局が主体となって、大学等の関係機関と連携し、「防災教育」に取り組む学校への積極的な支援を行います。

具体的には、行政が、学校と自主防災組織等地域住民との橋渡しをし、学校から児童生徒、家庭へ、そして地域も巻き込んだ「防災教育」を通じて、南海地震に備える実践的な活動を行う「地域づくり」を進め、最終的に「南海地震発生時の死者ゼロ」を目指します。

### 2 徳島県防災教育推進委員会

事業の実施にあたっては、防災教育推進委員会において進捗管理を行うとともに、テーマに合わせてワーキンググループを設置し、事業を推進します。

#### ○徳島県防災教育推進委員会委員

所 属	職 名	氏 名
徳島大学環境防災研究センター	センター長事務取扱	水口 裕之
(社)徳島新聞社メディア局	局長	日下 修伸
四国大学短期大学部幼児教育保育科	教授	石川 透
徳島文理大学人間生活学部メディアデザイン学科	教授	篠原 靖典
日本赤十字社徳島県支部	事務局長	三木 章男
徳島県自主防災組織連絡会	会長	松下 恭司
徳島県危機管理部南海地震対策課	課長	小松 仁司
徳島県教育委員会体育健康課	課長	佐野 義行

#### ■第1回 防災教育推進委員会

- ・日時：平成21年9月2日（水） 14:00～15:00
- ・場所：県立防災センター
- ・協議概要

(1)「小中学校まなぼうさい教室支援事業」の概要について

(2)各テーマについてはワーキンググループ等を設置し、事業実施を確認

#### ■第2回 防災教育推進委員会

- ・日時：平成22年1月28日（木） 9:30～10:30
- ・場所：県庁会議室
- ・協議概要

(1)「小中学校まなぼうさい教室支援事業」の進捗状況について

(2)今後の予定（活動報告会、成果品取りまとめ等）について

### 3 事業代表者・個別テーマ責任者

#### (1) 事業代表者

徳島県危機管理部南海地震対策課 課長 小松 仁司

#### (2) 個別テーマ責任者

- テーマ1 防災科学技術教育関連教材等の作成
- テーマ2 学校の教職員等を対象とした研修カリキュラムの開発・実施
- テーマ4 その他、地域の実情に応じた先進的な取組の実施

(責任者) 徳島県危機管理部南海地震対策課 課長 小松 仁司

- テーマ3 実践的な防災教育プログラムの開発・実施

(責任者) 徳島県教育委員会体育健康課 課長 佐野 義行

### 4 事業協力機関

徳島大学環境防災研究センター  
四国大学短期大学部幼児教育保育科  
徳島文理大学人間生活学部メディアデザイン学科  
(社)徳島新聞社  
日本赤十字社徳島県支部  
徳島県自主防災組織連絡会  
徳島県教育委員会体育健康課  
美波町消防防災課  
美波町教育委員会  
美波町西の地防災きずな会



#### 南海地震まめ知識(1)

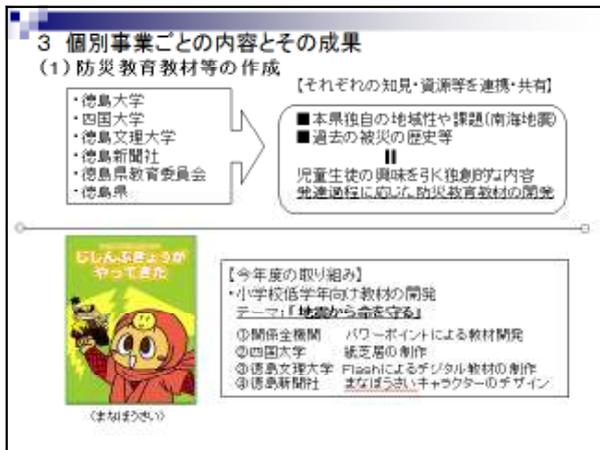
#### 南海地震はなぜ起こる?①



南海地震とは、足摺岬（高知県）沖から潮岬（和歌山県）沖付近の南海トラフと呼ばれている海底の細長い凹地の周辺で、繰り返し発生する巨大地震です。

## II 個別テーマの成果報告

### 1 防災科学技術教育関連教材等の作成



#### (1) 成果目標

各大学や防災関係機関、教育関係機関等が連携して、科学的・学術的な知見を踏まえ、本県独自の地域性や課題等を盛り込んだ児童生徒の興味を引く教材（パワーポイント、DVD、冊子等）を、特に発達段階に応じた小学生向け教材に重点をおいて開発・作成します。

また、次年度へ向けて小学生高学年を対象とした教材の検討を行います。

#### (2) 成果報告

① 教材の対象：小学校低学年

② 共通テーマ：「地震から命を守る」

③ 成果品

- 全関係機関
  - ・・・パワーポイント教材「じしんからのちをまもる」
- 四国大学
  - ・・・まなぼうさい紙芝居（デジタル版）
  - 「じしんびぎょうがやってきた」
  - まなぼうさいパネルシアター
  - 「じしんびぎょうがやってきた」
- 四国大学
  - ・・・防災ダンス歌「じしんがきたら」
  - イラストつき防災クイズブック「地震がきたら」
- 徳島文理大学
  - （社）徳島新聞社
    - ・・・まなぼうさいアニメーション
    - （自宅編・学校編・海岸編）
    - まなぼうさいアニメーション2010
- 徳島文理大学
  - ・・・シロのないた海
- 日和佐小学校
  - ・・・防災みなみ体操

④ 高学年用教材の検討

小学生低学年用教材から割愛した南海地震の知識とその備えを主テーマとし、家具転倒防止、非常持出品、家族会議など具体的なテーマを盛り込んだわかりやすい教材を作成するよう、検討を続けています。また、高学年を対象とすることから、児童自らが考える力を身に付けることができる工夫をした教材づくりが必要であると考えています。

※ 詳細は、「小中学校まなぼうさい教室」教材集57ページから参照。

(3) ワーキンググループ  
○メンバー

所 属	職 名	氏 名
名古屋大学災害対策室	助教	黒崎 ひろみ
(社) 徳島新聞社メディア局情報部	係長	末澤 弘太
四国大学短期大学部幼児教育保育科	講師	中村 真理子
徳島文理大学人間生活学部メディアデザイン学科	講師	山城 新吾
徳島県危機管理部南海地震対策課	係長	高杉 康代
徳島県教育委員会体育健康課	指導主事	浜井 俊洋



○活動内容

日 時	会議名	場 所	内 容
H21.9.29 17:00~18:30	全体WG	県立防災センター	・教材の作成について ・役割分担について
H21.10.20 13:00~15:00	個別WG	徳島文理大学 メディアデザイン学科	・Flashによる教材作成について ・役割分担について
H21.11.17 13:00~15:00	個別WG	徳島文理大学 メディアデザイン学科	・災害についての講話 ・Flashによる教材作成について
H21.11.19 17:00~17:30	個別WG	四国大学短期大学部 幼児教育保育科	・紙芝居の作成について ・役割分担について
H22.1.6 11:00~11:45	個別WG	徳島文理大学 メディアデザイン学科	・Flash教材の進捗状況について ・成果品について
H22.1.18 17:00~17:30	個別WG	四国大学短期大学部 幼児教育保育科	・紙芝居の進捗状況について ・成果品について

## 2 学校の教職員等を対象とした研修カリキュラムの開発・実施



### (1) 成果目標

県立防災センターが主体となり、防災関係機関や自主防災組織等地域住民が一体となって取り組むことができる研修カリキュラムの開発・実践を行います。

### (2) 成果報告

#### ① 「県立総合教育センターにおける防災教育カリキュラム化」

(協議概要)

■今年度の各研修カリキュラムの隙間で、防災教育の必要性について説明

■来年度研修計画の中で、さらに防災教育カリキュラム化について検討

(課題等)

県立総合教育センターで実施しなければならない多くの研修内容がある中で、来年度研修計画の中に、防災教育の時間を確保することができましたが、県立総合教育センターだけではなく、校長・教頭会などの教員が集う場へも出向いて、防災教育の必要性について説明を行う必要があると考えています。

#### ② 「防災教育推進パートナー」の登録による活動支援

防災教育に対して熱意のある教員に「防災教育推進パートナー」として登録してもらい、防災に関するあらゆる情報を「パートナー通信」として定期配信するとともに、パートナーに対し研修を実施し、その活動を支援します。

■「防災教育推進パートナー」の周知 → 9月～募集開始

■パートナー登録者数(3月現在) 52名

■「パートナー通信」の配信(月2回予定:初回11月13日(金))

■パートナー研修の実施

日時・参加人数 : 3月25日(木) 10:00~11:30 14人  
3月26日(金) 10:00~11:30 9人

場所 : 徳島県職員会館 第1・第2会議室

内容 : ・事業説明  
・研修1 南海地震と地域防災  
・研修2 災害時の要援護者対策

※ 詳細は、「参考資料」29～36ページを参照。ぜひご登録ください。

### ③ 「防災教育支援ホットライン」(相談窓口) の設置

県立防災センターにおいて、防災教育に関する相談を随時受け付ける窓口を設置しました。

■ 「防災教育支援ホットライン」設置の周知(9月～)

■ 啓発資料等の提供、ビデオ教材・パネル・防災グッズの貸出、授業の構成等の相談を実施

※ 詳細は、「参考資料」37ページを参照。ぜひご活用ください。

### ④ 「小中学校まなぼうさい教室」の開催

県立防災センター職員等が依頼のあった小中学校に出向いて防災教育(出前授業)を実施しています。

■ 19回開催(小学校10回、中学校8回、高校1回)(8月～)

■ 「小中学校まなぼうさい教室」実施を周知(2月～)



防災学習に県立防災センターへ来館した児童・生徒に「基本講座」の授業を行っている様子



三好市立佐野小学校で5・6年生を対象に、「非常用持出品」をテーマに授業を行っている様子

※ 詳細は、「参考資料」39ページを参照。

### ⑤ 地域住民への防災教育の啓発等

徳島県が実施している地域住民を対象とした「寄り合い防災講座」において、「小中学校まなぼうさい教室支援事業」の概要説明を行うとともに、防災教育に関心を持つ機会としてモデル地区の美波町において「防災教育講演会」を実施しました。

### 3 実践的な防災教育プログラムの開発・実施



#### (1) 成果目標

本事業で開発・作成した教材について、県南部の津波避難困難地区を多く抱え、南海地震への対応が急務となっている海部郡美波町において、モデル的に実践・検証し、さらに教材の改善につなげます。

また、自主防災組織等地域住民も一体となった実践的な防災教育の取組について、検討・実施を行います。

#### (2) 成果報告

##### ① 防災教育に対する関心を持つ機会として「防災教育講演会」を実施

■平成21年12月12日(土)：美波町由岐公民館

■講演会 「防災教育から地域防災力へ」

講師 京都大学防災研究所 巨大災害研究センター長 林 春男 氏

■行政、教員、地域住民、中学生など130名が参加



##### ② 開発した教材を使用したモデル校での実践・検証

■平成22年1月25日(月)

・3時限目：開発教材（パワーポイント）による防災授業

・4時限目：思考体験型防災訓練「こまった訓」（避難シミュレーションゲーム）

・アンケートの実施

■指定モデル校：美波町立日和佐小学校（2年生24名）

<アンケート結果から>

○防災授業について

開発教材（パワーポイント）については、わかりやすい、内容もちょうどよいという回答が多くありました。一方、もう少し子どもたちが危機感を感じられる写真・映像等を使用した方がよい、という意見が多くあったため、子どもたちに地震に対する備えの大切さを伝えるためには、写真の選定等について、子どもの状況をよく知っている教員との授業前の打ち合わせが大切だと考えます。

○思考体験型防災訓練「こまった訓」（避難シミュレーションゲーム）について

地域の方が参加した防災訓練は、非常に好評でしたが、防災授業の中で、「避難時は防災ずきんをかぶって逃げる」と児童が発言をしたにもかかわらず、防災訓練の時は、誰も「防災ずきん」をかぶっておらず、知識と行動が一致していないことが見えてきました。学校だけで行う防災訓練では、いつも防災ずきんをかぶっているということから、今回のように地域を巻き込んだ防災訓練を行うなど、防災訓練を形骸化させない工夫が必要です。



【防災授業の様子】

教材を検証するため、行政、教員、地域の方が参加

※ 日和佐小学校でのアンケート結果は、「参考資料」41ページ参照。



【思考体験型防災訓練「こまった訓」（避難シミュレーションゲーム）の様子】

目が見えない、手が使えないなどのハンデを与えた地域の方が入った5人グループで、障害物を設置した経路を避難している

※ 避難シミュレーションゲームの概要は、「参考資料」45ページ参照。

### ③ 学校、地域住民が一体となって取り組む実践プログラムの実施



- 平成21年12月12日(土)
- 炊き出し訓練
  - ・実施地区：美波町由岐地区  
(「防災教育講演会」に併せて実施)
  - ・300食の豚汁を準備
  - ・食材提供：フジグラン北島

※ 炊き出し訓練食材(例)は、「参考資料」50ページ参照。



- 平成21年12月20日(日)
- みなみ防災ウォークラリー
  - ・実施地区：美波町由岐地区
  - ・参加者：約50名

※ 詳細は、「参考資料」51ページ参照。

### (3) ワーキンググループ ○メンバー

所 属	職 名	氏 名
美波町消防防災課	事務主任	津田 晃宏
美波町教育委員会	事務主任	吉坂 峰伸
美波町西の地防災きずな会	会長	酒井 勝利
徳島県危機管理部南海地震対策課	係長	高杉 康代
徳島県教育委員会体育健康課	指導主事	浜井 俊洋

### ○活動内容

日 時	会議名	場 所	内 容
H21.10.1 13:30~14:30	全体WG	美波町会議室	・事業の概要について ・今後の取組について
H22.1.14 16:00~17:00	個別WG	日和佐小学校	・モデル小学校での実践・検証について

## ○ワーキンググループでの検討結果

### ・教材について

開発した教材を教員や自主防災組織の方等、誰もが使いやすいようにするため、シナリオや子どもたちに伝えたいこと、授業をする上で参考になることをまとめることにしました。

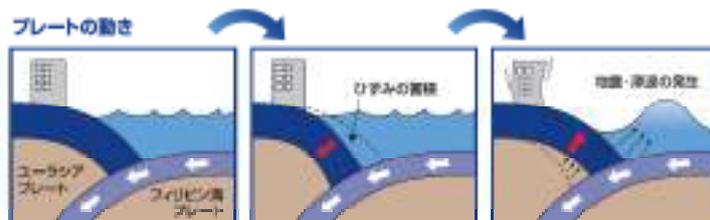
### ・防災教育プログラムの実践について

これらの取組がモデル地区だけの取組にならないよう、全県下へ情報発信する必要があります。このため「寄り合い防災講座」や「パートナー通信」、地域報告会を活用して情報発信を行うことにしました。



## 南海地震まめ知識（2）

### 南海地震はなぜ起こる？②



日本列島付近では、プレートと呼ばれる岩板が押し合っており、海側のプレートが陸側のプレートの下に潜り込み、陸側のプレートを引きずり込んでいます。引きずり込まれた陸側のプレートが、元に戻ろうと跳ね返ることにより、南海地震が発生します。

## 4 その他、地域の実情に応じた先進的な取組の実施

### (1) 成果目標

県立防災センターが主体となり、徳島県ならではの先進的な取組を実施し、これらの活動を県立防災センターや県ホームページ等で広く紹介することにより、防災活動のさらなる活性化を図ります。

### (2) 成果報告

#### ① 学校現場等に対する「県立防災センター」の積極的活用

県立総合教育センター等を通じ、本事業の概要を説明するとともに、「県立防災センター」の積極的な活用を依頼しました。



※ 県立防災センターを活用したカリキュラム（例）は、「参考資料」54ページ参照。



### 南海地震まめ知識（3）

#### 南海地震はいつ起こる？



南海地震は、100年から150年の周期をもって繰り返し発生しています。前回の南海地震が1946年（昭和21年）に発生しているため、今世紀前半にも発生する危険性があります。



30年以内に60%程度の確率

## ② 「徳島県まなぼうさい大賞」知事表彰の実施

県内の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校における防災教育や防災活動について、特に優れていると認められる学校に対して、知事表彰を行い、その功績をたたえることにより、それらの模範とすべき取組を全県下に広めるとともに、次世代を担う子どもたちの防災意識の向上に資することを目的として創設しました。

### 【審査の視点】

- ① 自主的・自発的な取組で、特に優れていると認められること
  - ② できるだけ、年間を通じた取組であること
  - ③ 2年以上の活動歴があるなど、継続した活動であること
  - ④ 学校だけでなく、地域や防災関係機関等と連携した取組であること
- 等の視点から、防災教育や防災活動に熱心に取り組んでいるかどうか、総合的に審査します。



○表彰式：「徳島県防災教育推進大会」（平成22年2月10日）において表彰

○平成21年度「徳島県まなぼうさい大賞」受賞校

### 【小学校 3校】

推薦者	吉野川市
学校名	吉野川市立鴨島小学校
校長名	横山 高芳
生徒数	403人
学校所在地	吉野川市鴨島町鴨島564番地
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"><li>■学校が持つ「避難所」としての機能に着目した6年生による避難所計画作成</li><li>■避難所の運営方法を地域社会に提案</li><li>■前年度の6年生の成果からさらに課題を見い出した研究（この取組は3年目を迎える）</li><li>■班毎のテーマ設定による調査・研究・発表</li></ul>

推薦者	三好市
学校名	三好市立佐野小学校
校長名	平田 正文
生徒数	22人
学校所在地	三好市立池田町佐野金氏942番地
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■年間計画の作成 テーマ「ふるさと再発見 いのちを守ろう」</li> <li>■過去の災害について調査、被災者の体験談を聞き取り</li> <li>■土砂災害等の学習、地域の危険箇所の探検</li> <li>■防災マップや防災パンフレットの作成</li> <li>■作成した防災パンフレットの高齢者への配布</li> </ul>

推薦者	牟岐町
学校名	牟岐町立牟岐小学校
校長名	笹田 茂樹
生徒数	172人
学校所在地	海部郡牟岐町大字中村字本村14番地
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■専門家による防災講演会、研修会の実施</li> <li>■地域との連携による避難所体験訓練の実施</li> <li>■年間を通じた避難訓練</li> <li>■各学年毎の発達段階に応じた防災学習</li> </ul>

【中学校 1校】

推薦者	徳島市
学校名	徳島市立津田中学校
校長名	佐藤 利弘
生徒数	401人
学校所在地	徳島市津田西町2丁目2-14
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■班別のテーマによる市民の意識調査</li> <li>■岡山県美作市での災害ボランティア活動</li> <li>■津田幼稚園、津田小学校での出前授業</li> <li>■高齢者との防災を通じた交流</li> <li>■保存食のジャム作り、配布</li> <li>■阪神淡路大震災追悼イベント</li> </ul>

### ③ 「とくしま防災フェスタ2009」への出展

平成21年10月25日(日)県立防災センターにおいて開催した「とくしま防災フェスタ2009」(来場者約3,800人)は、南海地震に県民総ぐるみで備えるために、子どもから大人までが防災について楽しく学べる、防災に関する情報満載のイベントです。

この「とくしま防災フェスタ2009」において、防災教育についても広く県民の方々に関心を持ってもらうため、「防災教育啓発ブース」を出展しました。

(出展内容)

- 「地震・津波防災ポスターコンクール」入賞作品の展示
- 防災教育教材の展示(本、絵本、紙芝居、ビデオ等)及び内容の解説

<オープニング>



<子ども防災まつり>



<防災教育啓発ブース>



<地震・津波防災ポスターコンクール  
表彰式>



### ④ 「地震・津波防災ポスターコンクール」公募事業の共催

「とくしま地震防災県民会議」との共催により、県内の全小中学生を対象にポスターコンクールの公募を行いました。

- 応募作品230点の中から、小学校低学年、高学年、中学校別に入賞作品(最優秀賞各1点、優秀賞、入選各2~3点)を選考、表彰。

# 地震・津波防災ポスター 入賞作品一覧

## ○小学校1～3年生の部 【最優秀賞】

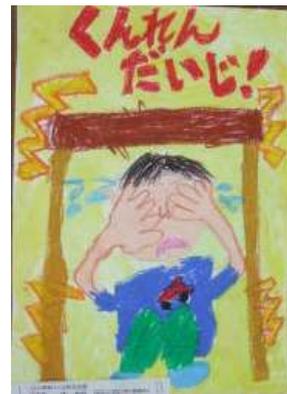


徳島市立川内北小学校 2年  
鈴江 康平

## 【優秀賞】

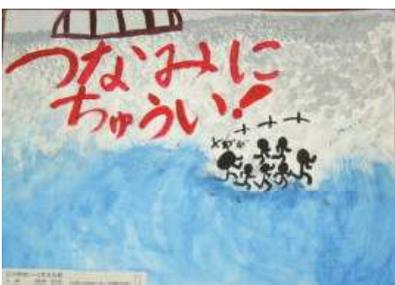


徳島市立川内北小学校 3年  
北條 弘登



徳島市立助任小学校 1年  
秦 伶奈

## 【入選】



吉野川市立山瀬小学校 1年  
梶原 史佳



鳴門市立林崎小学校 2年  
樋口 鈴



阿波市立土成小学校 3年  
川端 ひめか



○中学生の部  
【最優秀賞】



牟岐町立牟岐中学校 2年  
木内 伶

【優秀賞】



小松島市立坂野中学校 1年  
田原 涼花



牟岐町立牟岐中学校 3年  
松浦 七帆



三好市立山城中学校 1年  
本田 忍

【入選】



小松島市立坂野中学校 3年  
孫田 礼人



三好市立山城中学校 2年  
保土 千尋

⑤ 「徳島県防災教育推進大会」の開催

■日 時

平成22年2月10日（水） 午後1時から午後4時15分まで

■場 所

あわぎんホール（徳島県郷土文化会館） 1F ホール

■プログラム

- (1)「徳島県まなぼうさい大賞」表彰式
- (2)防災教育推進モデル校実践発表
- (3)講義「未来につなぐ防災教育」
- (4)「小中学校まなぼうさい教室支援事業」活動報告
- (5)意見交換会「学校・行政・地域みんなで取り組む防災教育」

■参加者 約550名

学校教育関係者	340名
県・市町村行政関係者	150名
自主防災組織等関係者	30名
その他防災関係機関等	30名

★「小中学校まなぼうさい教室支援事業」関係機関のホームページ★

- 徳島大学環境防災研究センター <http://envdp.ce.tokushima-u.ac.jp/>  
地震速報をはじめ防災関連情報が閲覧できます。
- 四国大学短期大学部幼児教育保育科 <http://www2.shikoku-u.ac.jp/youji/opening.html>  
将来を担う子どもたちに関わる人材の育成について閲覧できます。
- 徳島文理大学人間生活学部メディアデザイン学科 <http://wwwt.bunri-u.ac.jp/human/media/>  
学生が制作した「まなぼうさい」に関する教材が閲覧できます。
- （社）徳島新聞社 <http://www.topics.or.jp/manabousai.html>  
楽しく防災について学ぶためのコンテンツや情報が満載されています。
- 徳島県教育委員会体育健康課 <http://www.pref.tokushima.jp/docs/2006111500017/>  
「しっかり防災ホームページ」で防災教育推進モデル校の取組などが閲覧できます。
- 日本赤十字社徳島県支部 <http://www2.tcn.ne.jp/~jrcawa1/>  
様々なボランティア活動に関する情報が閲覧できます。
- とくしま地震防災県民会議 <http://www1.pref.tokushima.jp/001/02/kaigi/>  
県民会議の活動内容や、防災に関する各種の情報が閲覧できます。

# 平成21年度徳島県防災教育推進大会 意見交換会「学校・行政・地域みんなで取り組む防災教育」概要

日 時：平成22年2月10日（水）午後3時から午後4時15分まで

場 所：あわぎんホール 1F ホール

登壇者：三好市立佐野小学校（「徳島県まなぼうさい大賞」受賞校）教諭 岩佐 辰也  
徳島市立津田中学校（「徳島県まなぼうさい大賞」受賞校）教諭 小西 正志  
徳島文理大学人間生活学部メディアデザイン学科 講師 山城 新吾  
徳島県自主防災組織連絡会会長 松下 恭司  
徳島県危機管理部防災センター次長 小村 正  
徳島県南海地震対策課（防災センター・啓発担当） 係長 高杉 康代  
徳島県教育委員会体育健康課 指導主事 浜井 俊洋



## テーマ1 それぞれの取組と課題

岩佐教諭  
（佐野小学校）



小学5年生と6年生の8名の複式学級により、総合学習で「ふるさと再発見のちを守ろう」をテーマに防災学習を行った。

地域が山間部であり、急傾斜地や土石流危険渓流が多くあるにもかかわらず、子どもたちは危険を感じる機会や、地域を知る機会が少なかった。このような中、地域の自主防災会の呼びかけにより、総合学習による防災学習が始まった。

生徒に自分たちの身近な問題として、防災を考えさせることに苦労した。多くの「危険」があるにも関わらず、どのように危険かを知る方法がわからなかった。

防災教育を始める際には、関係機関への協力をどのように依頼したらよいのかなど、きっかけがわからず躊躇してしまうという課題がある。

小村次長  
(防災センター)

子どもたちに、いかに防災に興味を持たせるか、また防災を児童生徒が自分のこととして考えるためには、佐野小学校が取り組んだように、自分の住んでいる地域や児童生徒の生活と防災を密接に関連づけることによって、防災に関する関心や興味を高めることや、地域に出かけて調べてみることで、地域のお年寄りに過去の災害について聞いたりすることも一例かと思う。

高杉係長  
(防災センター)

今年度から防災に関する相談窓口（ホットライン）を設置したので、ぜひ活用して、防災教育のきっかけづくりにしてもらいたい。

防災センターでは、学校、市町村、地域をつなげるコーディネートができたかと考えている。

また一方では、地域のことは地域にしかわからないことが多い。学校と地域の橋渡しとなる市町村の防災部局の役割が大変重要である。

小西教諭  
(津田中学校)



防災学習を始めて5年目である。最初の2年は校内での総合学習として行ってきたが、3年目の生徒が「防災で一番大事なことは、地域とのつながりである、これが結論です。」と言って卒業した。それ以降は、地域に出かけてたくさん活動を行っている。総合学習の時間で企画・計画を行い、土日や夏休みに、卒業生や地域と連携をとりながら行動している。

今年度は、班別研究として市民1,600人を対象とした意識調査や岡山県美作市での災害ボランティア活動などを行った。防災への取組を地域に知ってもらうために広報活動も行っている。

学校では、部活動、防災学習と非常に多忙であり、防災教育に取り組む後継者がいないという課題がある。

浜井指導主事  
(県教育委員会)

防災教育の担い手、地域と学校とのつなぎ手については、全国的に不足が指摘されている。このような中、県教育委員会では継続的な防災教育ができるよう、防災教育の担い手・つなぎ手の育成に向けて平成18年に防災教育指導資料を作成した。また、防災教育推進モデル校の実践を紹介する研修会を行っている。今後も先生方や地域、関係機関の皆様の協力を得て、防災教育の担い手・つなぎ手の育成に努めたい。

小村次長  
(防災センター)

教員は異動もあり、継続的な活動は難しい。また、地域によって、防災の課題も違ってくる。全てを学校だけで行うことは難しく、学校が地域や行政と連携して、防災活動を地域全体の活動に位置づけることが必要である。

また、防災教育に携わる方のすそ野を広げることも大事になってくる。先生方にも、防災教育推進パートナーに登録いただくなど、少しずつ勉強してもらい、少しずつ防災に対する理解を深めていただきたい。

山城講師

(徳島文理大学)



徳島新聞社が持っている「まなぼうさいキャラクター」を借りて、アニメーションを作成したり、地域を巻き込んだ防災を考えるきっかけとなる、おもしろい動画「浜神から逃げろ」を、授業で学生が制作している。

防災が専門ではなく、メディアが専門であるため、防災の必要性の理解や知識の収集に苦労があった。制作したコンテンツをHPで公開したり、CDにして配布するだけでよいのか、コンテンツが本当に必要とする人に届いているかなど、コンテンツを作成して次のステップへどう繋げていくかが課題である。

高杉係長

(防災センター)

逆に県や防災関係者は、メディアデザイン等表現の手法は全く素人であり、子どもたちの興味を引く教材はなかなか作れない。各機関がそれぞれの長所を連携という形で補い、防災教育のすそ野を広げていきたい。

次へのステップとしては、「小中学校まなぼうさい教室支援事業」において、今までにある教材や今回作成した教材を全ての小中学校に配布する。各関係機関等と連携しながら、防災教育を盛り上げていきたい。

来年度は、県内各地域での報告会も考えている。その中で地域の方々にも参加してもらい、広く開発した教材を紹介していきたい。

浜井指導主事

(県教育委員会)

県教育委員会では、来年度、学習指導要領の改定を踏まえ、防災教育に取り組む際の手引き書となる実践的な防災教育プログラム集を作成する予定である。この中でもぜひ今回の教材を紹介していきたいと考えている。

松下会長

(徳島県自主防災組織連絡会)



平成14年から里浦小学校と地域が連携した防災活動を行っており、これまでに地域と学校が連携した避難訓練を7回行っている。

防災訓練や事前学習に保護者の参加が非常に少ない。教員や児童が真剣に参加している中、地域、特に若い保護者への啓発が不足している。親子（家庭）が共通した認識で危機意識を持ち真剣に取り組まなければ、子どもたちの防災教育にならない。自主防災会における地域での防災意識啓発、親たち住民への防災教育の大切さを痛感している。

小村次長

(防災センター)

防災教育は、学校と地域が一体となって行ってこそ効果が上がるものであり、地域防災の中心となって活動していただいている自主防災組織の役割は非常に重要であると考えている。今後とも積極的な取組をお願いしたい。

## テーマ2

## 「小中学校まなぼうさい教室支援事業」や行政に対する意見など

岩佐教諭  
(佐野小学校)

浜井先生の講義の中で、防災教育は各教科の中で横断的にできるということに感銘を受けた。実際に防災学習を進めていく中で、各教科の授業を通して、いろんな防災の知識が身につく取組を進めるためには、どのような教材があり、どのような場づくり、環境が必要か、伺いたい。

校区の地域は高齢者が非常に多い。そのような方が、避難所まで行くことは無理であるということが、子どもたちにもわかってきた。災害時要援護者に対しての地域行政の取組をさらに求めたい。

小村次長  
(防災センター)

地域において、災害時要援護者に対する支援は重要な課題であると認識している。行政は縦割りで、防災部局と福祉部局の連携が十分でないと考えており、今後さらに連携を密にしていきたい。

高杉係長  
(防災センター)

来年度も各大学や徳島新聞社の協力を得ながら、高学年向けの教材づくりを予定している。その際には学校現場の声も頂き、内容を検証・改善しながら進めたい。その他の防災活動についても防災センターで集約して紹介できる仕組みづくりを行いたい。

山城講師  
(徳島文理大学)

難しい教材づくりは大学の社会貢献として協力したい。しかし本当に大事なものは、教材そのものより、教材を含めた学習活動の場、学習が活動に結びつくデザインづくりである。

小西教諭  
(津田中学校)

防災教育に取り組む活動経費の確保が難しく、理解をお願いしたい。  
地域住民へのアンケート調査など、防災に関するデータを集めると、次にしなければならないことができてくる。中学生も行政と一緒にできることがあればやっていきたい。

総合学習に占める防災学習をしている学校の割合を伺いたい。

浜井指導主事  
(県教育委員会)

県下全ての学校で地域の実態に応じた防災教育は行われている。総合的な学習の時間で「防災」をテーマに学習している学校の割合については、具体的にはつかんでいないが、10校に1校はあると聞いている。

その内容は自分たちが住む地域の防災について調べたり、聞き取りをしてまとめるといった、地域の防災力を高めるために自分たちでできることを考えるという、すばらしい内容が多く見られるようになってきている。このような取組が広がりつつあることを心強く思っている。

山城講師  
(徳島文理大学)

地域を巻き込んだ防災力の育成に防災啓発コンテンツをうまく組み込んでいけたらと考えている。インターネットや放送メディアを活用するだけでは不十分である。

(山城講師)

子どもたちから家庭へ地域へとつなげることが大事だが、学校と関係が切れている世帯も非常に多い。この意味でも地域と一体となった防災訓練は非常に意味がある。そういう中で防災啓発コンテンツも使っていきいたい。

また、行政のリーダーシップについては、行政が動かないのであれば動くようなくみを地域でもつくっていかなければならない。

小村次長

(防災センター)

地域から学校を見てどう思うか。

松下会長

(徳島県自主防災組織連絡会)

学校は児童の学習と生活の場であるが、大災害となると地域の避難所となる。地域の拠点として施設の早期の耐震化が最重要である。

校舎の中も危険がいっぱいであり、安全点検を行って欲しい。テレビ、スチールロッカー、額縁、図書室の本棚など、学校で家具の固定を行うことは、目に見える防災教育になる。こうした取組が学校から家庭へ広がっていくことを期待している。

また、防災教育は学校と家庭と地域が一体となって、それぞれが真剣に取り組む必要がある。地域の自主防災組織も増えてきた。学校も忙しいと思われるので、ぜひ地域の力を活用してもらいたい。

今後も地域のために活動をしていくので、先生方にもぜひ御協力をお願いしたい。

小村次長

(防災センター)

いただいた御意見は、来年度の高学年の教材づくりの視点に取り入れていきたい。

----- (会場との意見交換) -----

日野 様

(石井町平島地区  
自主防災会会長)

年間に何時間程度、防災の学習をしているか。

防災活動に対する生徒の反応、感想、関心を知りたい。

岩佐教諭

(佐野小学校)

週2時間の総合学習の中では、年間70時間を超える時間となる。

また、土砂災害を中心に学習してきたが、防災センターでの学習により、津波など他にも災害があることがわかった。子どもたちは、住んでいる町の災害だけでなく、街や海それぞれの場所での災害(防災)知識が必要だと感じる事ができた。

小西教諭  
(津田中学校)

土日、夏休みなどを含めると200時間を超えている。ミニコミ誌の作成だけでも計画、集計、作成など50時間は費やしている。

生徒については、前へ引っ張ってくれる生徒もいれば、なかなか動かない生徒もいるが、自分たちが選んだ取組なので、学習に来なかった生徒はいない。

小村次長  
(防災センター)

大規模災害の被害を最小にするためには「地域全体の防災力を高める」必要がある。防災力を高めるためには、生涯にわたる防災教育が必要であることは異論のないところである。

この防災の基本は、自助「自分の命は自分で守る」である。これについては幼少の頃から防災教育を通じて、防災の正しい知識や実践方法を身につけておく必要がある。また「自分の地域は自分の地域で守る」という共助の視点から、市町村や消防団等、防災関係者がもっと積極的に学校に働きかけ、教員だけに任せず、また逆に、学校も積極的に地域を活用し、学校も地域の一員という当たり前の関係の中で連携を図っていく必要がある。

県では、市町村や教育委員会、自主防災組織等と連携して、防災教育への取組を充実させていきたいと考えており、引き続き、御協力をお願いしたい。

◎意見交換会に参加いただいた機関による取組

○三好市立佐野小学校



※防災マップづくり

○徳島市立津田中学校



※災害ボランティア活動

○徳島文理大学



※防災コンテンツ

○徳島県自主防災組織連絡会



※徳島県自主防災組織連絡会総会

### Ⅲ まとめ

「南海地震」がいつ起こってもおかしくない状況の中、日頃から「南海地震」についての関心や理解を深め、地震に備えることの大切さについて学ぶことにより、被災時には、児童・生徒が自らの的確な判断の下で防災行動がとれるよう「防災教育」を積極的に推進していくことが非常に重要です。

一方、防災の課題は地域ごとに異なっており、地域の実情は地域にしかわかりません。

このため、防災教育を学校だけに任せるのではなく、地域の消防団や自主防災組織等と連携した防災教育ができるよう、学校と地域の橋渡しをすることが行政の役割でもあります。

徳島県においては、文部科学省からの委託により、「小中学校まなぼうさい教室支援事業」を実施し、学校や防災関係機関のほか、自主防災組織等地域住民も一体となった防災教育の取組ができる推進体制の構築を図って参りました。

テーマ1「防災科学技術教育関連教材等の作成」で開発した教材集は、各大学や防災関係機関、教育関係機関等が連携し、科学的・学術的な知見を踏まえ、本県独自の地域性を盛り込み、誰でもが利用しやすいユニークな教材集となりました。

テーマ2「学校の教員等を対象とした研修カリキュラムの開発・実施」では、「パートナー通信」の配信や「防災教育支援ホットライン」の設置等、防災教育に関心や熱意のある教員へ、側面からの支援を行いました。

テーマ3「実践的な防災教育プログラムの開発・実施」では、地域の方々に防災教育に関心を持ってもらい、学校において地域を巻き込んだ防災教育が実施できるよう、プログラムを開発・実施しました。

テーマ4「その他、地域の実情に応じた先進的な取組の実施」では、「徳島県まなぼうさい大賞」知事表彰の創設や、「徳島県防災教育推進大会」の開催等により、全県下で防災教育を推進するための本県ならではの取組を行うことができました。

また、この事業を推進するにあたり、事業が教材づくりやプログラムの実施で完成するのではなく、これらの成果を学校をはじめ地域まで全県下にいかに浸透させるかということや、教員、行政、地域の方々をいかにやる気にさせるか、といった課題も見えてきました。

次年度においても、これらの課題を踏まえながら、新たな教材づくりや地域報告会等、引き続き「小中学校まなぼうさい教室支援事業」を積極的に推進して参りたいと考えております。

参 考 资 料





## 南海地震まめ知識（４）

### 南海地震はどんな地震？①

#### ●強く長い揺れ

次の南海地震は、マグニチュード8.4前後（地震エネルギーは昭和南海地震の約4倍）、徳島県では、震度5強から6強の強い揺れが約2分から3分続くと予想されています。

（徳島県内の震度予測と被害想定）



■ 徳島県の人的被害想定 東南部南海地震が同時発生した場合の予想される最大死者数

要因/ 季節時間	建築物倒壊 (人)	津波 (人)	斜面崩壊 (人)	火災 (人)	合計 (人)
冬の5時	約2,500	約1,700	約100		約4,300
秋の12時	約1,500	約1,500	約100		約3,100
冬の18時	約1,700	約1,400	約80	約300	約3,500

徳島県地震動被害想定調査(平成17年3月)による

開始します!

# 『防災教育推進パートナー』

## 登録・支援事業

※裏面が登録用紙になっています。

防災教育って? 時間がない!

教材は?



何をすればいい?

進め方は?

南海地震の発生確率

- ・ 今後30年以内に60%程度
- ・ 予測震度は5強~6強
- ・ 強い揺れが2~3分程度続く

**!!熱意・関心のある先生方をサポートいたします!!**

- ① パートナーを対象とした研修等スキルの向上
- ② 啓発用資料の提供
- ③ 防災センター等が実施する防災イベントの情報提供
- ④ パートナーに対する防災に関する定期的な情報発信

問い合わせ先

徳島県立防災センター (徳島県危機管理部南海地震対策課防災センター・啓発担当)  
〒771-0204 徳島県板野郡北島町鯛浜字大西165 TEL: 088-683-2100 FAX: 088-683-2002  
e-mail: bousaice@mail.pref.tokushima.lg.jp

# 『防災教育推進パートナー』

## 登録用紙

☆ 防災教育推進パートナーに登録いただいた先生方に、定期的に「パートナー通信」を配信します。

この「パートナー通信」は、防災教育の推進のみならず、南海地震等大規模災害発生時において、ご自身とご家族の生命・財産を守るために必要な情報を発していくものです。

ふりがな

役職・氏名

---

学校名

TEL

---

〒

所在地

---

〒

自宅住所

---

電話番号

---

「パートナー通信」送信先メールアドレス

※携帯電話への配信はできません。

ご自宅または勤務先等のパソコンのメールアドレスをご記入ください。

---

※御記入いただいた個人情報は、当事業の目的以外には使用しません。

※申込先（FAXまたは郵送でお申し込みください）

徳島県立防災センター（徳島県危機管理部南海地震対策課防災センター・啓発担当）

〒771-0204 徳島県板野郡北島町鯛浜字大西165 TEL：088-683-2100 FAX：088-683-2002

e-mail：bousaice@mail.pref.tokushima.lg.jp

# 防災教育支援 ホットライン

(相談窓口)



防災すだちくん

☎ 088-683-2100

★ 県立防災センターでは、防災教育に関する相談を随時受け付けています。  
お気軽にご相談ください。

- 南海地震をテーマにした授業をしたいんだけど・・・？
- 課外授業に行きたいなあ。
- 地域の人達にも協力を求めたい！
- どんな備えが必要なの？



- 学校へ出向き、分かりやすい防災講座を行います。
- 各種防災情報、啓発資料等を提供します。
- 防災センターでは地震、煙、消火などの疑似体験で楽しく学ぶことができます。
- 地域や市町村との橋渡しをします。

## 徳島県立防災センター

(徳島県危機管理部南海地震対策課防災センター・啓発担当)

〒771-0204 徳島県板野郡北島町鯛浜字大西165  
TEL:088-683-2100 FAX:088-683-2002  
e-mail:bousaice@mail.pref.tokushima.lg.jp



## 南海地震まめ知識（5）

### 南海地震はどんな地震？②

#### ●大津波

第1波到達時間



最大津波高



次の南海地震では、大きな津波が沿岸部を襲うことが想定されます。

県南の沿岸地域では、5メートルを超える大津波が押し寄せます。

※第1波到達時間：地震が発生してから水位が20cm以上上昇するまでの時間

# 小中学校まなぼうさい教室

徳島県では、切迫性が高まる南海地震の発生に備えるため、地震防災の正しい知識や自分や家庭でできる防災対策について、小中学生を対象とした分かりやすい防災講座、「小中学校まなぼうさい教室」を、学校や地域に職員が出向いて開催します。

## 1 講座の内容

- ・ 地震が起きるとどうなる？ どうする？
  - ・ 南海地震とは
  - ・ 家庭でできること
  - ・ 地域でできること
- 等、概ね1時限の授業(45分)程度  
※内容の詳細は、担当者と協議してください。



まなぼうさいキャラクター  
(協力:徳島新聞社)

## 2 対象

県内の小中学校や地域が主催する小中学生向けの防災講座・訓練等

## 3 申込み方法

徳島県立防災センターまたは最寄りの県総合県民局に、裏面の申込書により、開催の2週間前までにご連絡ください。

## 4 費用

職員の派遣費用は無料です。

## 5 その他

徳島県立防災センターで、「小中学校まなぼうさい教室」を開催することもできますので、**お気軽に当センターをご活用ください。**

### (問い合わせ先)

徳島県立防災センター

電話:088-683-2100 FAX:088-683-2002

E-Mail:bousaice@mail.pref.tokushima.lg.jp

南部総合県民局企画振興部危機管理担当

電話:0884-74-7273 FAX:0884-77-3851

E-Mail:nanbu\_k\_m@pref.tokushima.lg.jp

西部総合県民局企画振興部危機管理担当

電話:0883-53-2392 FAX:0883-53-2434

E-Mail:seibu\_k\_mm@pref.tokushima.lg.jp

**申込書等は[こちらから](http://anshin.pref.tokushima.jp/)…安心とくしまポータルサイト:<http://anshin.pref.tokushima.jp/>**

整理番号 \_\_\_\_\_

## 「小中学校まなぼうさい教室」申込書

日 時	平成 年 月 日( ) : ~ :
会 場	
参加者数	約 名
内 訳	年生 人、 年生 人 …

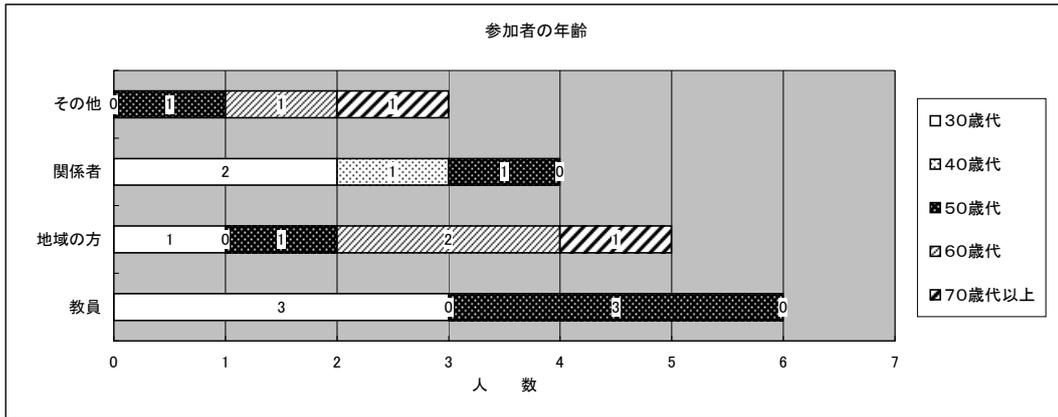
※発達過程に応じて内容に違いがありますので、対象の学年・人数を記入してください。

### 申 込 者

学校、地域団体等名			
申込者氏名			
住 所			
電 話 (携 帯)		F A X	
会場設備	以下の設備が準備できる場合は記しを付けて下さい (設備がない場合は、こちらで準備いたします) <input type="checkbox"/> パソコン(パワーポイントが必要) <input type="checkbox"/> プロジェクター <input type="checkbox"/> スクリーン		
そ の 他 特記事項			

## 日和佐小学校防災教育実践・検証アンケート結果

開発した教材の実践・検証を行うため、行政関係者、教員、地域の方など約30人に参加をいただき、18名の方からアンケートの回答をいただきました。



### 1. 防災授業について

(1)教材の内容について(視覚的観点から)	大変わかりやすい	わかりやすい	普通	わかりにくい	回答者のうち無回答
	5	13	0	0	0

具体的な提案やアイデア、改善点など	子どもに求めている答えと絵の表現がイマイチ合っていなかったように思う。
	女の子のイラストが(ミニスカート)があまり好きではなかった。
	日和佐地区の津波の地図で、やくよけ橋の色が塗られていないので、子ども達は大丈夫と思ったようです。
	映像の中で、子ども達から「やばい、大変」という声は聞こえてきたが、「怖い」は聞かれなかった。程度を検討する必要があるが、地震・津波共にもう少し恐怖感のある映像を使った方がよいのではと感じた。
	45分授業なので、あまり詰め込むのは良くない。今回はちょうど良かったと思う。
	図で分かりにくい所があった。
	映像の音声が聞こえにくかった。
	音を再現できたら良いと思う。
パワーポイントが少し見えにくかった。	

(2)授業の内容について(伝えるべき内容・レベルなど)	難しい	少し難しい	ちょうどよい	やさしすぎる	回答者のうち無回答
	0	2	16	0	0

具体的な提案やアイデア、改善点など	パワーポイントで映すだけでなく、より見て欲しい所を棒で押さえるなどすると子どもはさらによく分かると思う。
	クイズをもっとテンポ良くして、数を増やせば良いと思う。
	クイズがあり、興味を持って飽きさせずに答えられた。数はちょうど良いと思う。
	震災後の助け合いについて教えていくべきではと感じた。内容を増やすべき。
	メッセージや選択肢をもう少し分解しても良い。例)トイレ→「ドアを開け頭を守る」・「そのまま頭を守る」・「すぐに出る」
	2年生には少し難しい。説明ばかりなので、プリントなどがあると良い。伝える内容が多い。

(3)授業の解説(話し方)について	大変わかりやすい	わかりやすい	普通	わかりにくい	回答者のうち無回答
	7	11	0	0	0
具体的な提案やアイデア、改善点など	ゆっくりで丁寧に話してくださったのでよく分かった。				
	子どもの発表を受け流すことが多かったように思う。一言だけでも返してあげれば良いと思う。				
	子どもの目線でよく分かる話し方でした。				
	インパクトの強弱が少なく平坦に感じた。				
	やさしい話し方で良かった。				

(4)子どもの視点からどう思うか	大変わかりやすい	わかりやすい	普通	わかりにくい	回答者のうち無回答
	5	12	0	0	1

(5)この教材を使用して授業をしてみたいか	ぜひやってみたい	やってみたい	どちらでもない	やりたくない	回答者のうち無回答
	3	8	5	1	1

## 2. 避難シミュレーションゲームについて

(1)避難シミュレーションゲームの内容はどうでしたか	大変よかった	よかった	どちらでもない	よくなかった	回答者のうち無回答
	8	7	0	0	3
具体的な提案やアイデア、改善点など	楽しみながら活動できてよかった。地震発生から揺れが収まるまでの時間を設定してから避難訓練を行うようにしてはどうか。その方が子どもも落ち着いて取り組めると思う。アイマスクなどを使用し、簡単なコースを作って、子どもにも疑似体験をさせてみたいと感じた。				
	障害物競走のようだった。子ども達は楽しそうに活動ができていたが、もう少し真剣に取り組めたら良いと思う。避難という点にもう少し重きを置いた方が良い。				
	地域の人が家族となり、ハンディを負って協力し逃げるという設定がいいと思いました。10分以内に逃げるというゲームにしたところが意欲付けになっていた。見えないという状況が一番怖いということが良くわかった。子どもでも1人ずつくらいハンディをつけてもいいのでは。防災ずきんに気づく子がいなかったのが残念。普段の心がけが大切。				
	楽しく学習ができて良かったと思う。				
	問題(障害)のないグループが障害をすぐ駆け抜けていたので、何か課題を与えても良い。				
	学校と地域とが連携して良かったと思う。このような機会がもっと多い方が良い。				
	障害物等、ある物で良く工夫されていた。				

(2)子どもの視点からどう思うか	大変たのしい	楽しい	どちらでもない	楽しくない	回答者のうち無回答
	8	7	0	0	3

(3)この避難訓練を子ども達と一緒にしてみたいか	ぜひやってみたい	やってみたい	どちらでもない	やりたくない	回答者のうち無回答
	6	8	1	0	3

# 日和佐小学校2年生児童アンケート結果

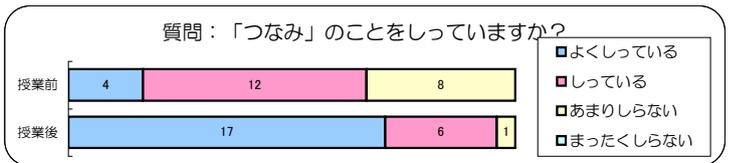
○「じしん」のことをしていますか？

	よくして いる	している	あまりし らない	まったく しない
授業前	3	14	7	0
授業後	16	7	1	0



○「つなみ」のことをしていますか？

	よくして いる	している	あまりし らない	まったく しない
授業前	4	12	8	0
授業後	17	6	1	0



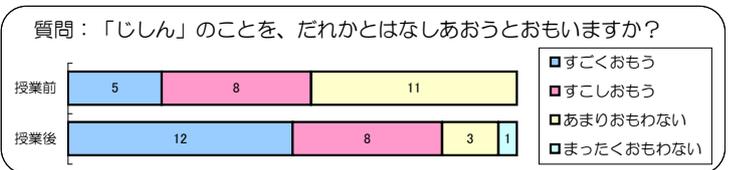
○「じしん」などの「災害」というと、なにを（どんなことを）おもいうかべますか？

授業実施前	
家やビルがこわれる、たおれる	14
こわい	13
ものがたおれる、落ちる	6
津波がくる	2
火災がおきる	2
崖崩れがおきる	2
停電する	1
揺れる	1
床がぬける	1
避難したい	1
ガラスが割れる	1
命が危ない	1
しんどい	1
きてほしくない	1

授業実施後	
家やビルがこわれる、たおれる	14
こわい	5
地面・道路が割れる、かたむく	5
津波がくる	4
ガラスが割れる	4
崖崩れ・土砂崩れがおきる	2
自動販売機やブロック塀がたおれる	2
苦しそう	1
おきてほしくない	1
揺れているときは立てない	1
家の中がめちゃくちゃ	1
命を落とす	1
人を困らせる	1

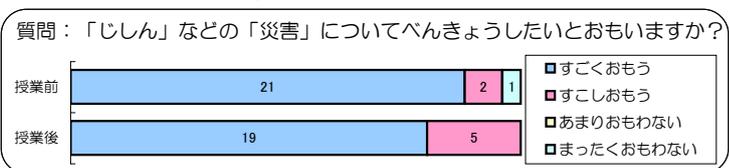
○「じしん」のことを、だれかとはなしあおうとおもいますか？

	すごくおも う	すこしおも う	あまりおも わない	まったくおも わない
授業前	5	8	11	0
授業後	12	8	3	1



○「じしん」などの「災害」についてべんきょうしたいとおもいますか？

	すごくおも う	すこしおも う	あまりおも わない	まったくおも わない
授業前	21	2	0	1
授業後	19	5	0	0



○きょうの授業で「じしん」のことがわかりましたか？

よくわかった	少しわかった	どちらでもない	わからない
20	4	0	0

○きょうのおはなしにでてきた「え」や「しゃしん」はどうでしたか？

よくわかった	少しわかった	どちらでもない	わからない
19	5	0	0

※そのわけをかいてください。

よくわかった理由	絵があったから見やすかった。	10 (36%)
	絵がかわいかった。絵がおもしろかった。絵が見やすかった。	7 (25%)
	写真があって見やすかった。写真がすごかった。	2 (7%)
	ビデオを見てよくわかった。	1 (4%)
	マンガで楽しく説明してくれたのがよかった。	1 (4%)
少しわかった理由	字がよく見えた。	1 (4%)
	絵があったから見やすかった。	1 (4%)
	絵がおもしろかった。	1 (4%)
	写真がよくわからなかった。	1 (4%)
	あまり見やすくなかった。	1 (4%)
	絵は感じが違う。	1 (4%)

○きょうのおはなしをした人の「はなしかた」はどうでしたか？

よくわかった	少しわかった	どちらでもない	わからない
19	4	1	0

※そのわけをかいてください。

よくわかった理由	声が大きかったからよく聞こえた。	5 (23%)
	ゆっくり話してくれたから。	4 (18%)
	ていねいに説明してくれたから。	4 (18%)
	はっきり話してくれた。やさしく教えてくれた。簡単な話し方だった。	3 (13%)
	映像を見せながら話してくれたから。	1 (4%)
少しわかった理由	声が大きかったから少しわかった。	1 (4%)
	ゆっくり話してくれたから少しわかった。	1 (4%)
	少し難しかった。意味がわからないところがあった。	3 (13%)
どちらでもない理由	すごく難しかった。	1 (4%)

○「ひなんくんれん」はどうでしたか？

またやりたい	どちらでもない	やりたくない
22	2	0

※そのわけをかいてください。

またやりたい理由	楽しかった。おもしろかった。	11 (36%)
	避難のしかたがわかった。	6 (20%)
	もっと障害物があればいい。	2 (7%)
	障害物があったから、またやりたい。	2 (7%)
	勉強になった。	2 (7%)
	少しこわかった。	2 (7%)
	冒険みたい。	1 (3%)
	避難しやすかった。	1 (3%)
どちらでもない理由	おじさんがケガしなかったから。	1 (3%)
	もっと障害物があればいい。	2 (7%)

# 避難シミュレーションゲーム概要

## 1 内容

避難シミュレーションゲームは、思考体験型防災訓練「こまった訓」（まなぼうさいプロジェクト）プログラムの中の一つのプログラムで、阪神淡路大震災被災者により考案された、災害時のリアルな避難を体験するゲームである。

(1) 避難を困難とするバリア（障害物）を設置したコースをつくる。

災害を想定して、跳び箱、ネット、ハードルなどで障害物を設置する。

(2) 怪我をイメージしたハンデを設定する。

(例) グループごとに4種類のボールから好きなものを選ぶ。(カードなどでもよい)

選んだボールの種類によって、被災した直後の状態が決まる。

- ・サッカー・・・足のケガ
- ・バスケット・・・手のケガ
- ・野球・・・目のケガ
- ・卓球・・・無傷

ハンデが決まったら、片足を縛ったり、アイマスクなどにより、ケガをした場所を使えないようにする。

(3) 避難時間を想定した時間内にゴールを目指して一斉に避難する。

(4) 振り返りにより学習を深める

## 2 想定される内容

- ・出口に避難者が集中して混雑する。
- ・ハンデのある者は障害物で手間取る。
- ・無傷の者は、一目散に走って避難する。
- ・ハンデのある者を無傷の者が助ける。
- ・助け合って、時間内にゴールする。
- ・助け合ったために無傷の者がタイムオーバーする。



## 3 ねらい

- ・災害、避難のリアルなイメージを持つ。
- ・避難の困難さを体験する。
- ・ケガの予防についての意識を持つ。
- ・災害時要援護者への意識を持つ。
- ・助け合うことの大切さを体験し、普段からの協力体制作りを行う。

## 参 考

### 日和佐小学校避難シミュレーションゲーム

#### 1. 目 的

同日、日和佐小学校で開催される、防災教育普及・推進を目的とした、防災教育教材による学習の効果を、体験・ゲームを取り入れたワークショップにより、更に高めるとともに、沿岸地域で必須の対応と言える、災害発生後の迅速な避難について強く意識付けることを目的とする。

2. 日 時 平成22年1月25日(月) 11:35~12:20(45分間)

3. 場 所 美波町立日和佐小学校

4. 対象者 (1) 日和佐小学校2年生  
(2) 日和佐地区地域住民  
※小学生4人、住民1人、計5人で1グループ×6グループとする

#### 5. 内 容

思考体験型防災訓練「こまった訓」(まなぼうさいプロジェクト)プログラムより、避難シミュレーションゲームを行う。

今回の内容は、(1) 怪我をイメージしたハンデを設定し(2) 避難を困難とするバリア(障害物)を設置したコースを(3) 家族等をイメージしたグループで(4) 避難時間を想定した時間内にゴールを目指し(5) 振り返りにより学習を深める こととする。

※但し、ハンデを設定するのはグループ内の大人(地域住民)1人とし、種類は、

- ① アイマスク(1班) ② 手を使えない(2班) ③ 高齢者擬似体験セット着用(1班)  
④ ①②両方(1班) ⑤ 無傷(1班)とする。

#### 6. スタッフ

(1) 司会・進行 … 1人

(2) 総監・タイムキープ … 1人

全体の運営管理、コースの最終確認、授業中のスタッフ指示

(3) コース準備・コース管理

コースへのバリア設置、参加者・児童の安全確保、コースの復元、バリアの撤収等

※ 参加者の自主性を尊重するため、危険な時以外は指示を出さない、あくまで見守り役

① 美波町職員 … 3人

② 徳島県職員 … 5人

③ 西の地防災きずな会 … 3人

#### 〈教 訓〉

授業中 → 多くの児童から、「避難時は防災ずきんをかぶって逃げる」との意見があった。

避難シミュレーション時 → 誰も「防災ずきん」をかぶっていなかった。

※ 「知識」が「行動」と一致していない。



普段の「防災訓練」の形骸化?

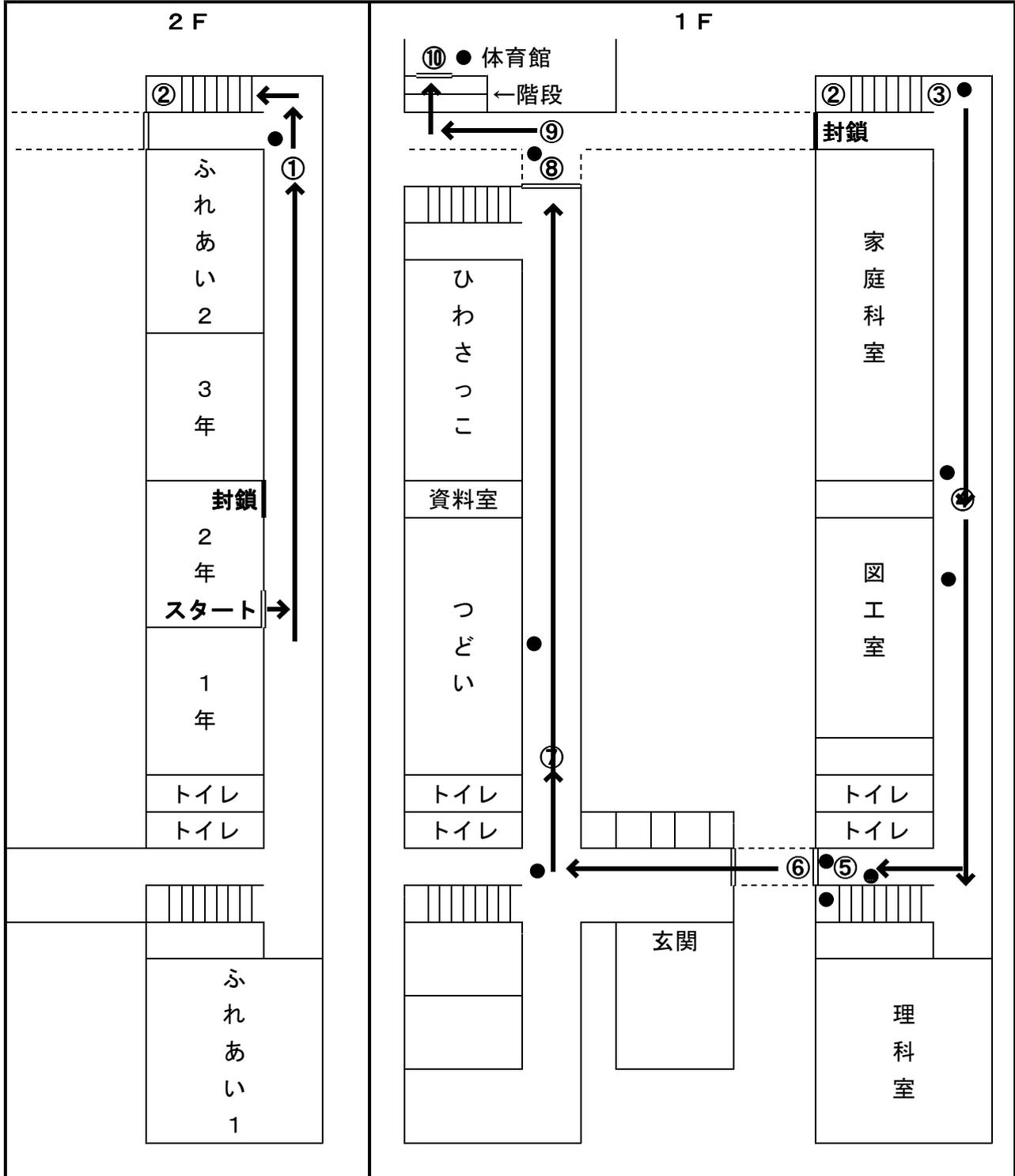


※ 普段の「防災訓練」が災害時の行動につながるようにする必要がある。

日和佐小学校避難シミュレーションゲームタイムスケジュール

時間	内 容	場 所	担 当	ス  タ ッ フ	必 要 機 材
10:00	・ スタッフ集合 ・ 事業内容、資料説明	玄関		全員	・ 名簿・資料
10:05	・ コース説明（実際に歩きながら）	校舎内～ 体育館	福本	全員	・ 資料
10:15	・ 障害物運搬等コース準備作業 ※設置場所の端等邪魔にならない所に置く	体育館～ 校舎内	末沢	全員	・ 障害物
10:35	・ コース準備終了				
10:40	・ 県防災授業実践	2年教室	高杉	全員	
11:20	・ コース各担当場所へ移動、配置確認	校舎内	末沢	全員	
11:25	・ 休み時間				
11:35	・ 授業開始 ・ 障害物設置等完成作業、コース最終確認	2年教室 校舎内	福本 末沢	全員	・ アイマスク ・ ビニール紐
11:40	・ ハンデ決定、ハンデ装着	2年教室	福本		・ ハサミ
11:45	・ 第1班避難開始 ※2分間隔で避難		末沢		・ 高齢者疑似体験セット
11:47	・ 第2班避難開始				
11:49	・ 第3班避難開始				
11:51	・ 第4班避難開始				
11:53	・ 第5班避難開始				
11:55	・ 第6班避難開始 ※各班通過後、通行の邪魔にならない限りコースを復元、6班通過後逐次撤収			全員	
11:55	・ 第1班制限時間		末沢		
11:57	・ 第2班制限時間				
11:59	・ 第3班制限時間				
12:01	・ 第4班制限時間				
12:03	・ 第5班制限時間				
12:05	・ 第6班制限時間 ※班の前後が入れ替わった場合は総監に報告、制限時間を過ぎた班はハンデを外しスムーズにゴールへ移動してもらう			全員	
12:15	・ 振り返り ・ 講 評	体育館 体育館	福本 校長		
12:20	・ 全員集合、授業終了	体育館		全員	
12:40	※授業終了前には撤収途中スタッフも一旦集合 ・ 撤収作業 ・ 撤収完了 ・ アンケート記入				

日和佐小学校避難シミュレーションゲームコース図



- ① 雑巾台（そのまま）（2年、ふれあい前）設置、奥にマット設置
- ② 踊り場にマット設置      ③ 階段下に跳び箱（木）2、奥にマット設置
- ④ 家庭科・図工室（どちらか）のイスを出し設置      ⑤ 階段上からボール、風船落下
- ⑥ スコアボード設置（くぐる）      ⑦ 坂型クッション、まなぼうさい障害物設置
- ⑧ 階段下にブルーシートの上にマット設置      ⑨ 高跳び棒設置（くぐる）
- ⑩ 体育館入口に段ボール2（クッション）奥にマット設置
- はコース準備・コース管理スタッフ配置

日和佐小学校避難シミュレーションゲーム障害物設置イメージ図及び留意事項

<p>① 隙間なく置く</p> 	<p>③ 階段最下部から隙間をあけない</p> 
<p>⑥ 内側から扉に引っ付けて置く</p> 	<p>⑦ 設置はセンスにお任せします</p>  <p>坂形マット×2</p>
<p>⑨ くぐれる高さ、柱手前側に設置</p> 	<p>⑩</p> 

④ イスは迷路型、乗り越え型、左右に避ける形で設置。

⑤ 上から落とすスタッフ、カゴに入れて上げるスタッフ、下で声をかけるスタッフに分かれて  
 (⑥管理と兼任) 手分けして行う。

⑧ 階段最下部と隙間をあけない。

## 炊き出し訓練食材（例）

「とくしま防災フェスタ2009」での炊き出し訓練食材例です、参考にしてください。

### 【 カ レ ー 】 640食

食 材 等	分 量
牛肉	16k g
タマネギ	16k g
ニンジン	4k g
じゃがいも	20k g
カレーのルー	8kg
サラダ油	1L
紙皿(カレー用)	750
スプーン	750



### 【 豚 汁 】 400食

食 材 等	分 量
豚肉(バラ)	12kg
ニンジン	3.6kg
じゃがいも	20kg
ゴボウ	30本
大根	15本
だし汁(だしの素)	48L(320g)
みそ	6kg
醤油	0.3L
料理酒	0.3L
紙皿(豚汁)	500
はし	500

### 【 その他あれば便利なもの 】

物 品 名
ゴミ箱(可燃、不燃、残飯)
ビニル手袋(調理用)
マスク
軍手
新聞紙(ゴミ箱用)
ごみ袋
セロハンテープ
ガムテープ
マジック
はさみ
キッチンペーパー(ふきん等)
ティッシュ
タワシ
その他調理器具



【防災フェスタでの炊き出しの様子】

# みなみ防災ウォークラリー概要

## 1. 活動の目的

地区内の津波避難場所や津波碑等の防災資源を、交流資源として捉えて利用することで、住民の防災意識の高揚のみならず、地域内外の交流を推進し、地域の活性化を図ることを目的とする。



## 2. 実施日時

平成21年12月20日(日)午後2時～4時  
(受付は午後1時30分～) 悪天候の場合は中止

## 3. 場 所

集合場所：由岐公民館2階 大会議室  
チェックポイント：別紙チェックポイントマップをご参照下さい。

## 4. 参加条件

- (1) 2～4名のグループ（事前の申込みは不要、当日受付のみ）
- (2) グループの中にQRコード読み取り機能付きのケイタイを持っていることが条件となるが、もし持っていない場合は、サポーターがそのグループに付く。

## 5. 実施方法

- (1) 準備（10:00～12:00）
  - ・大会議室の準備
  - ・チェックポイントの準備（のぼり旗及びQRコードの設置）
  - ・準備が終わり次第、一時解散（13:00に再度集合）
- (2) 受け付け(13:30～14:00)
  - ・参加グループの受付を行う（紙ベース）。
  - ・参加グループのケイタイにQRコード読み取り機能が付いているかチェックする。
  - 【QRコード読み取り機能が付いている場合】  
ケイタイから、サーバーにアクセスし、グループ名を登録する。
  - 【QRコード読み取り機能が付いていない場合】  
事務局がサポーターを割り当てる。

- (3) ルール説明(14:00～14:20)
  - ・会長あいさつ
  - ・ルール説明（事務局）
- (4) ウォークラリー(14:20～15:30)
  - ・由岐湾内に設置している10カ所のチェックポイントを巡り、ケイタイで防災クイズに答える（巡る順番は自由）。
- (5) 答え合わせ(15:30～15:45)
  - ・全てに解答し終わると、サイトに自動的にランキングが表示される。
  - ・事務局がパワーポイントで問題と解答を説明する。
- (6) 表彰(15:45～16:00)
  - ・1～3位までは豪華賞品
  - ・全問正解のチームにはLEDライト
- (7) 記念撮影
  - ・横断幕を持って参加者全員で記念撮影を行う。
- (8) 解 散
  - ・参加者全員にソイジョイを配布する。

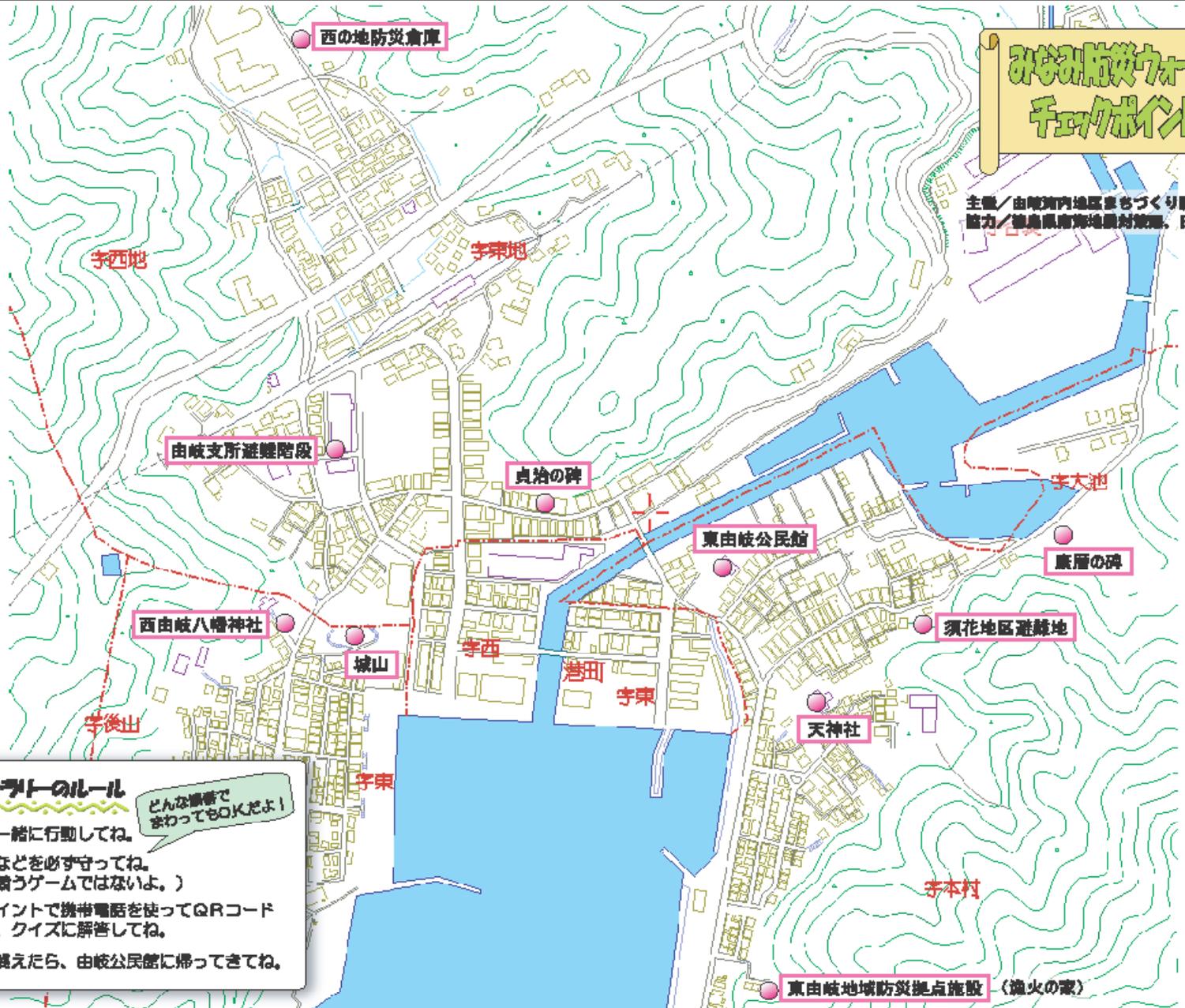
## 6. 準備物

- (1) 賞品
  - ・1～3位までの賞品
  - ・全問正解賞
  - ・参加賞
- (2) のぼり旗(15本)
  - ・うち10本：チェックポイントに設置
  - ・残り5本：公民館の内と外に設置
- (3) 横断幕
  - ・記念撮影時に使用
- (4) チェックポイントマップ 200枚
- (5) 受付用紙
- (6) QRコード（ラミネート加工しておく）
  - ・チェックポイント用 10枚
  - ・サーバアクセス用 1枚
- (7) サポーター
  - ・徳島県南海地震対策課
  - ・まちづくり協議会
- (8) その他
  - ・ガムテープ



# みちみ防災ウォークラリー チェックポイントマップ

主催/由岐町内地区まもづくり協議会  
協力/徳島県南海地震対策部、日星化学工業(株)



## 防災ウォークラリーのルール

- ★ グループで一緒に行動してね。
- ★ 交通ルールなどを必ず守ってね。  
(タイムを競うゲームではないよ。)
- ★ チェックポイントで携帯電話を使ってQRコードを読み取り、クイズに解答してね。
- ★ 全て解答し終えたら、由岐公民館に帰ってきてね。

どんな順番でまわってもOKだよ！

## 県立防災センター体験カリキュラム（例）

県立防災センターでは、ツアー形式で災害の模擬体験室を案内して回るほか、自由に体験できる、防災対策展示コーナー、通報体験コーナー、VR避難体験コーナーなどがあります。

災害に対する正しい知識を持ち、どのような準備をすればよいのか、災害発生時にはどのような行動をとるのかなど、もしもの時の防災行動を体験しながら学習できる施設です。

学校での防災カリキュラムとしてご活用ください。

経過時間 (所要時間)	体験項目	学習内容
<b>〇体験ツアー 1班：45人 所要時間：約1時間30分</b>		
20分 (20分)	<b>1. 防災ガイダンス</b> 	映画館のような大スクリーンで、災害に対する日頃の備えや心構えと、本県に想定される各種災害の知識や対策などを映像により紹介します。
40分 (20分)	<b>2. 地震体験</b> 	ダイニングキッチンで、震度5強の揺れと、兵庫県南部地震（震度7）を再現した揺れを体験し、身体の保護や出火防止、避難路の確保など、地震時の適切な行動を体験します。
55分 (15分)	<b>3. 消火体験</b> 	大型スクリーンに映された火災の映像に向けて、水消火器で実際に放水し、初期消火の基本的な知識や手順を体験します。
65分 (10分)	<b>4. 煙体験</b> 	煙の充満した通路を、誘導灯を頼りに避難する体験を通して、煙に巻かれたときの正しい判断、避難行動を体験します。また、火災時の煙の特性やその恐ろしさについての説明も受けます。 (使用する煙は人体に無害で、匂いがついていません。)
85分 (20分)	<b>5. 風体験</b> 	風速30m/sの暴風を実感し、風害についての説明を受けることで、日頃の備えの重要性を喚起します。 小学校2年生以下は、風速20m/sで体験します。

経過時間 (所要時間)	体験項目	学習内容
<b>○自由体験・見学コーナー</b>		
自由に時間を設定することができます。	<b>■防災対策展示コーナー</b> 	防災グッズや非常食品などの展示品と、災害に備えて家族みんなで話し合うこと、日頃から家の周りの安全点検をすることなどのパネルから、災害への備えについて学ぶことができます。
	<b>■通報体験</b> 	事故や災害をいち早く知らせ、適切な処置が素早くできるよう、状況を正確に伝える通報の体験ができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・119番通報の良い例・悪い例が試聴できます。</li> <li>・通報者と消防士に分かれて、119番の通報練習ができます。</li> </ul>
	<b>■避難VR体験</b> 	モニターからの質問に答えながら、学校、デパートなどいろいろな場所からの適切な避難の方法を学ぶことができます。それぞれの場所で、地震が起きたときの状況がイメージできます。
	<b>■救命体験</b> 	応急処置（心肺蘇生法、止血法など）について学ぶことができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導員による講習（※要予約）</li> <li>・映像による心肺蘇生法の学習</li> </ul>

**徳島県立防災センター** もしもの時の、身の守り方を体験しながら学習できます。



**ご利用について(入場無料)**

- 開館時間 / 9時～17時
- 休館日 / 月曜日、第1火曜日、年末年始(12月26日～1月4日)  
月曜日が祝日の場合は開館、翌日休館します。  
第1火曜日が祝日の場合は、開館します。
- ※10名様以上の団体でのご利用は、事前にご予約ください。

**交通のご案内**

- 徳島バス大塚線または境門立道線  
フジグラン前バス停から徒歩約5分
- JR高成駅: 車で約5分
- 徳島自動車道: 船任ICから車で約10分
- 四国横断自動車道: 萩野ICから車で約20分
- 神戸淡路鳴門自動車道: 境門ICから車で約15分

※駐車場は一般車両21台、大型バス5台が駐車できます。  
〒771-0204 徳島県板野郡北高町鍋浜字大西165  
TEL088-683-2000 FAX088-683-2002





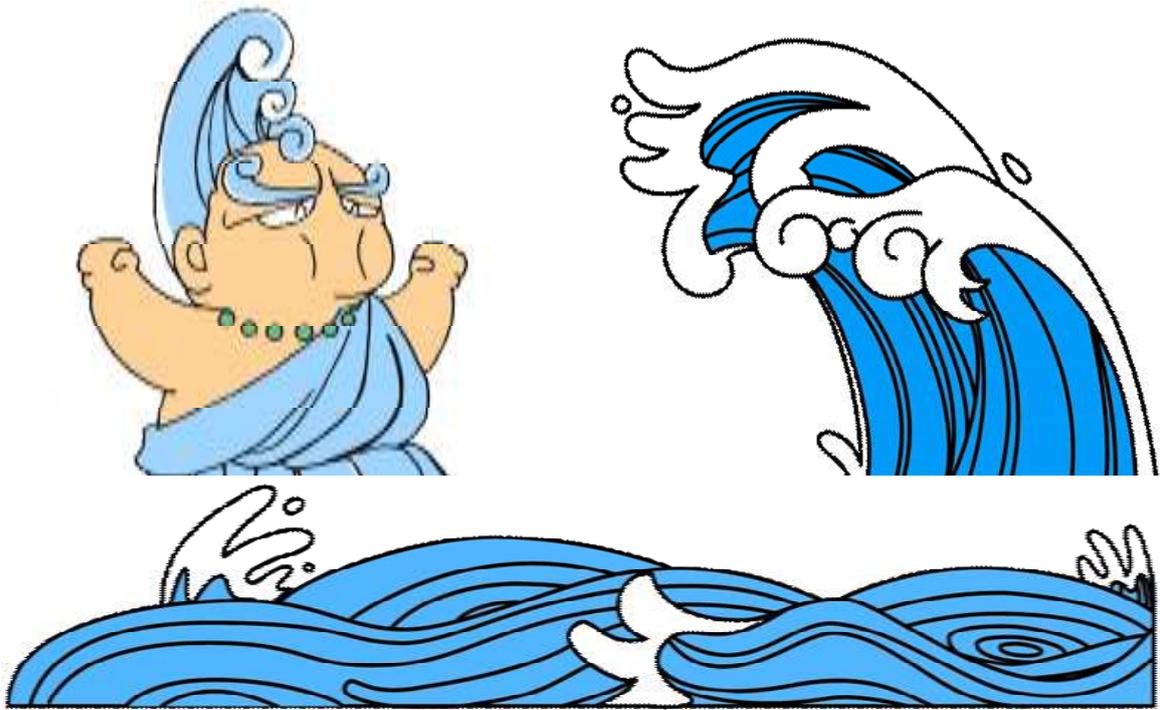
南海地震まめ知識(6)

### 津波の速さはどのくらい？

津波のスピードは水深によって決まります。沖合の深いところでは速く、浅いところでは遅くなります。また、浅くなるにしたがって津波の高さは高くなります。



「小中学校まなぼうさい教室」教材集



## 「小中学校まなぼうさい教室」教材集目次

### 【共通テーマ】 地震から命を守る

#### 〔教材集1〕

教材名	特徴	解説ページ
パワーポイント教材 「じしんからいのちをまもる」	防災授業として1時限の授業ができるシナリオとなっています。	51
まなぼうさい紙芝居 「じしんぶぎょうがやってきた」	パワーポイントで紙芝居のように授業ができます。	61
まなぼうさいパネルシアター 「じしんぶぎょうがやってきた」	パソコン操作で児童・生徒自らも楽しく学習ができます。	66

#### 〔教材集2〕

教材名	特徴	解説ページ
まなぼうさいアニメーション (自宅編・学校編・海岸編)	パソコン操作で児童・生徒自らも楽しく学習できます	67
シロのないた海		68
まなぼうさいアニメーション 2010		69

#### 〔教材集3・4〕

教材名	特徴	解説ページ
防災ダンス歌 「じしんがきたら」	ダンスや手話により、体で防災について学びます。	70
防災みなみ体操	体操で、もしもの時のために、健康な体づくりをします。	73

#### 〔冊子〕

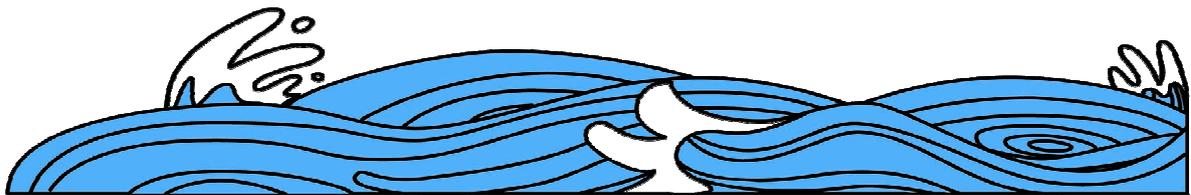
教材名	特徴	解説ページ
イラストつき防災クイズブック 「地震がきたら」	クイズを通して、児童・生徒自らが、またグループで話し合いながら楽しく学習できます。	75



南海地震まめ知識 (7)

津波の特徴は？

- ① 速い    ② 高い    ③ 繰り返し襲ってくる
- ④ 引き波で始まるとは限らない
- ⑤ 第1波が最も大きいとは限らない



# パワーポイント教材

## 「じしんからいのちをまもる」

### 趣 旨

徳島県では、今後30年以内に60%程度の高い確率で「南海地震」が発生し、最大で死者4,300人という、甚大な被害が予想されています。

このように南海地震がいつ起こってもおかしくない状況の中、日頃から、「南海地震」についての関心や理解を深め、地震に備えることの大切さについて学ぶことにより、被災時には、生徒・児童が自らの的確な判断の下で防災行動がとれるよう「防災教育」を積極的に推進していくことが非常に重要です。

この教材は、小学校低学年を対象として、児童が地震について楽しく学ぶことができるとともに、教員をはじめ、自主防災組織等地域住民の方、さらには小学校高学年の児童や中学生が、この教材を活用して防災授業ができることを目的に制作しました。

### テーマ

「地震から命を守る」

### 伝えたいこと

- ①地震が起きるとどうなるのか。
- ②自分にどんな危険が起こるか。
- ③自分の命を守るためにはどうすればよいか。

### 使用方法

【基本編】 1～23、30～33

- ・「地震が起きるとどうなるか」や「地震が起きたときにとるべき行動」を、ぼう斎先生が教えてくれる、というストーリーになっています。
  - ・地震が起きたときに、「自分の命を守るためにはどうすればよいか」ということを、まな防と一緒に考えていきます。
  - ・話の流れにそって、アニメーションを設定しています。
  - ・このパワーポイントは、学校内の授業スタイルに合わせて変更することは自由です。
- 但し、他のパワーポイントや印刷物への写真転載などの二次使用はできません。

【津波編】 24～29

- ・津波の被害が予想されている地区では、津波の特徴等について説明してください。
- ・各地域の津波浸水予測図は、徳島県津波浸水予測地図（県ホームページ掲載）から取得・貼り付けしてください。

### 必要なソフトウェア

パワーポイント97以降のバージョンに対応。  
パワーポイントがない場合は、パワーポイントビューアで見ることができます。

パワーポイントビューアは、無料でダウンロードができます。  
パワーポイントには動画を挿入しているため、動画を再生できるソフトウェアが必要です（Windows Media Playerなど）。

### 制 作

徳島県防災教育推進委員会

（防災科学技術教育関連教材等の作成ワーキンググループ）

- ・徳島大学環境防災研究センター
- ・四国大学短期大学部
- ・徳島文理大学
- ・（社）徳島新聞社
- ・徳島県
- ・徳島県教育委員会

	スライド	シナリオ	伝えたいこと	参 考
1	<p><b>じしんからいのちをまもる</b></p>	<p>【キャラクター紹介】</p> <p>① まな坊 防災忍術を学ぶ見習い忍者          ② ぼう斎先生 まな坊の師匠              防災の知識は豊富          ③ そな江 まな坊のやさしいお姉さん          ④ ふせ号 まな坊の友達（犬）          ⑤ じしん奉行 自分の城をつくるために地震をおこす悪いやつ          ⑥ つなみ丸 じしん奉行がピンチになると呼び出す魔人</p>		
				目安時間（累計）（分：秒） 1:00
2	<p>「じしん」てなに？</p> <p>「地盤」がズラズラ揺れる！          ↓          人もものもみんな揺れる</p> <p>いつどこで「じしん」がおきるかわからない</p> <p>日本は「じしん」が多い国</p>	<p>・どこかに原因（じしん奉行）があって地震が起こる。          （地面がずれる、地面が跳ね上がるなど）          ・地面の上にあるものはみんな揺れる。          （家も、学校も、道も、人も・・・）          ・台風は、天気予報でいつくるかがわかるが、地震はいつ起こるかわからない。          ・日本は地震がとても多い国である。</p>	<p>・地震のしくみ。          ・いつどこにいるときに地震が起こるかわからない。          ・日本は地震が多い国である。</p>	<p>・世界で起こる地震のうち、マグニチュード6以上の地震の2割が日本で起こっている。</p>
				目安時間 3:00
3	<p>じしんがおきるとどうなる？</p>	<p>・地震が起きるとどうなるかを予想させる。          ・大きな揺れだと、人はどうなるか、どう感じるか。</p>		
				目安時間 3:30
4	<p>1983年 日本海中部地震 2005年 福岡県西方沖地震</p>	<p>・1983年5月26日「日本海中部地震」の動画          ・2005年3月20日「福岡県西方沖地震」の動画          ・大きな揺れの中では、人がどのようなになるか。</p>	<p>・大きな揺れの中では、人は立ってられない。</p>	<p>映像：日本海中部地震          福岡県西方沖地震（約3.5分）          →画面上でクリックすると映像が流れます。          地震直後の会議室での映像。大きな地震の中では、人は立ってられない、いずにも座ってられない、人は何もできないことがわかる。</p>
				目安時間 8:00

	スライド	シナリオ	伝えたいこと	参 考
5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・1995年1月17日「阪神・淡路大震災」の動画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高速道路、家屋、ビル、町、道路、線路の被害の大きさ。</li> <li>・地震は一瞬にしてこれらを壊してしまう。</li> </ul>	映像：阪神・淡路大震災（約2分） →画面上でクリックすると映像が流れます。 地震後の高速道路、家屋、町、道路、線路の被害状況の映像。 死者：6,434人 負傷者：43,792人 目安時間 10:30
6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・家や学校はどうなるかな？</li> <li>家が傾いている。</li> <li>1階がつぶれている。</li> <li>2階の窓ガラスが割れて落ちてしまっている。</li> <li>壊れたもので道路がいっぱいになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震の後、学校や家がどんな状態になるか。</li> <li>・そうなることにより、大けがをしたり、逃げ遅れたり、死亡する場合もある。</li> <li>・道が通れなくなる。</li> </ul>	写真（上）：阪神・淡路大震災後の学校の様子 写真（下）：阪神・淡路大震災後の家屋倒壊の様子 目安時間 11:00
7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・家の中や、学校の中はどうなるかな？</li> <li>部屋の中は足の踏み場もないほどめちゃめちゃになっている。</li> <li>時計が部屋の真ん中に落ちている。（飛んできた！）</li> <li>食器類も飛び出す。</li> <li>テレビ、電子レンジも飛んでくる。</li> <li>本棚やタンスが倒れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家の中や、学校の中がどんな状態になるか。</li> <li>・割れたガラスや食器類で室内の移動も難しくなる。</li> </ul>	写真：阪神・淡路大震災 時計の針は、地震発生時刻をさしたまま、部屋の真ん中に落ちている。 目安時間 11:30
8		<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段当たり前のように使っているものが使えなくなってしまう。</li> <li>電気→テレビや冷蔵庫などの電気製品が使えなくなる。夜も真っ暗。</li> <li>水道→手が洗えない。トイレの水が流せない。お風呂に入れない。トイレが流せなくなるとどうなるか。調理や洗い物、洗濯ができない。</li> <li>ガス→ご飯や給食が作れない。</li> <li>電話→連絡が取れない。</li> <li>無事かどうかの確認がとれない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフラインが止まってしまう。</li> </ul>	阪神・淡路大震災の復旧期間（神戸市） 電気・・・7日後 電話・・・15日後 都市ガス・・・85日後 水道・・・91日後 目安時間 13:30

	スライド	シナリオ	伝えたいこと	参 考
9	<p>町や通学路では？</p> <p>・道がでこぼこになる</p> <p>・家が倒れる</p> <p>・火事がおこる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町や通学路がどうなるか考えてみよう！ 道がでこぼこになって、車が通れなくなる。 →消防車や救急車も通れなくなる。 家が壊れる。 火事が起こるかもしれない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町や通学路がどんな状態になるか。</li> </ul>	<p>写真：阪神・淡路大震災</p> <p>目安時間 14:00</p>
10	<p>かんぱんやガラス、カワラがおちてくる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・店の看板が落ちてくる。</li> <li>・ビルや家のガラスが割れて落ちてくる。</li> <li>・屋根の瓦が落ちてくる。 →上から物が落ちてくる。</li> <li>・割れたガラスの破片は遠くへ飛ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町や通学路にも危険がいっぱいある。</li> </ul>	<p>目安時間 14:30</p>
11	<p>・ブロックベ이가たおれる</p> <p>・自動販売機がたおれる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・頑丈そうなブロック塀や石垣が倒れる。</li> <li>・いつもジュースを買っている自動販売機も倒れる。</li> </ul>		<p>写真：能登半島地震</p> <p>・1978年の宮城県沖地震では、ブロック塀や石壁などの下敷きとなって、18名の方が亡くなった。</p> <p>目安時間 16:00</p>
12	<p>山や海では？</p> <p>・山やけがけがくずれ</p> <p>・つなみがくる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山では？ 山や崖が崩れる →人や車が通れなくなり、孤立する町や村ができる。 →連絡が取れない、助けに行けなくなる。</li> <li>・海では？ 海辺では海から津波がくる →人、車、家など町の全部が大波にのみ込まれる。 →津波は何もかも押し流しながら襲ってくる。 →川をあふれさせながら上ってくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山や海も危険なこと。</li> <li>・山崩れでどんな被害が出るのか。</li> <li>・津波でどんな被害が出るのか。</li> <li>・山や海辺の危険な場所から早く離れること。</li> </ul>	<p>写真（上）：岩手・宮城内陸地震 写真（下）：スマトラ島沖地震津波</p> <p>&lt;崖崩れのサイン&gt; 崖に割れ目が見える 崖から水が湧き出ている 崖から小石がパラパラと落ちてくる 崖から木の根が切れる等の音がする</p> <p>目安時間 15:30</p>

	スライド	シナリオ	伝えたいこと	参 考
13	<p>じしんがおきたら どうする？</p> 	<p>・地震が起きたらどうしたらいいか、ぼう斎先生が教えてくれるよ！</p>	<p>・それぞれの場所で、地震が起きた時の行動を考える。</p>	<p>目安時間 16:00</p>
14	<p>まずは、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おちつくのじゃー</li> <li>・あたまを まもるのじゃ</li> </ul> 	<p>・ぼう斎先生が教えてくれることは、とっても大切なこと。</p>	<p>・揺れが大きかったり、心の備えができていないと、何もできない。</p> <p>・パニックになると、人的な被害が拡大するおそれがある。</p>	<p>目安時間 16:30</p>
15	<p>がっこう 学校にいるとき</p> 	<p>・まな坊の行動が正しいかどうかを一緒に考えよう！</p>	<p>・学校のそれぞれの場所での避難行動。</p> <p>・勝手に帰宅しない。</p>	<p>・先生がいるときは、先生の指示や校内放送に従う。</p> <p>目安時間 17:00</p>
16	<p>きょうしつ 教室にいるときはどうする？</p> <p>まな坊 あわててへびだす</p> <p>けいけい つくえの下にはいる</p> 	<p>・教室にいるときに地震が起きたらどうしたらいいかな？</p> <p>・まな坊はどうしているかな？</p> <p>・まな坊は慌てて外へ飛び出しているね！</p> <p>・○か×かみんなはどう思う？</p> <p>・児童に○か×かの理由を発表してもらおう。</p>	<p>・机の下に入るだけでは不十分。 しっかりと机の脚を対角線上に持つ。</p>	<p>・図書室・・・本が落ちてくる。 本棚が倒れる。 →急いで本棚から離れて、机の下に避難する。</p> <p>机がない場合は、真ん中でしゃがむ。 本で頭を守る。</p> <p>・音楽室・・・ピアノやオルガンが倒れる。 (襲ってくる。)</p> <p>→素早く離れる。</p> <p>目安時間 20:00</p>

	スライド	シナリオ	伝えたいこと	参 考
17	<p>ろうか にいるときはどうする？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>廊下にいるときに地震が起きたらどうしたらいいかな？</li> <li>まな坊はどうしているかな？</li> <li>まな坊は窓際に近づいているね！</li> <li>児童に〇か×かの理由を発表してもらおう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>窓ガラスなど、危険なところから離れて、広い場所の真ん中で、頭を守ってしゃがむ。</li> <li>すぐ近くに教室があれば、教室の机の下に入る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>階段・・・傾斜があるため危険。</li> <li>→転び落ちないように、その場でしゃがむ。</li> <li>手で頭を守る。</li> </ul> <p>目安時間 23:00</p>
18	<p>うんどうじょう にいるときは？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動場にいるときに地震が起きたらどうしたらいいかな？</li> <li>まな坊はどうしているかな？</li> <li>学校に向かって走っているよ！</li> <li>児童に〇か×かの理由を発表してもらおう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動場の真ん中でしゃがむ。</li> <li>遊具からも離れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育館・・・上から照明器具が落ちる。周囲の窓ガラスが割れる。</li> <li>→真ん中でしゃがむ。手で頭を守る。</li> </ul> <p>目安時間 26:00</p>
19	<p>トイレにいるときは？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>トイレにいるときに地震が起きたらどうしたらいいかな？</li> <li>まな坊はどうしているかな？</li> <li>ドアを開けて、トイレでじっとしているね！</li> <li>児童に〇か×かの理由を発表してもらおう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>慌てずに、ドアをあけて、逃げ道を確保する。</li> <li>ドアが開かなくなる恐れがある。</li> <li>お風呂も同じ。</li> <li>ここでも頭を守ること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>狭い空間は壁が支えになっているため、比較的安全である。</li> </ul> <p>目安時間 29:00</p>
20	<p>まち つうがくろ 町や通学路（みち）では？</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>町や通学路での避難行動を考える。</li> </ul>	<p>目安時間 29:30</p>

	スライド	シナリオ	伝えたいこと	参 考
21	<p>やっぱり、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おちつくのじゃー</li> <li>・あたまをまもるのじゃ</li> <li>・ひろいばしょに 行くのじゃ</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どこでも大切なことは同じ！</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大切なことを、繰り返し伝える。</li> </ul>	<p>目安時間 30:00</p>
22	<p>町や通学路（みち）の あぶないところ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブロック塀</li> <li>・自動販売機</li> <li>・電柱</li> <li>・車</li> <li>・やねのがやわ</li> <li>・みせのかんばん</li> <li>・ビルのガラス</li> </ul> 	<p>○ふり返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで見てきた写真などから、町や通学路の危ないところを思い出してみよう！</li> <li>・自分たちがよく通る道で、あぶないものがないかな？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よく通る道や通学路に、倒れそうなものがないか、日頃から確かめておく。</li> <li>・車は地震に気づいていないことが多いので、事故にも注意が必要。</li> </ul>	<p>目安時間 32:00</p>
23	<p>どうする？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あぶないところからはなれる</li> <li>・あたまをまもる なにであたまをまもる？ ランドセル、かばん、手</li> <li>・ひろいばしょのまんなか にしゃがむ</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町や、道も危ないところがいっぱいだね！</li> <li>・じゃあ、どうしたらいいんだろう？</li> <li>・とにかく、危ないところから離れること。</li> <li>・次に頭をももること。</li> <li>・何で頭をまもる？</li> <li>・持っている物何でも！</li> <li>・広い場所の真ん中でしゃがんでいることが大事。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町や通学路での危険を回避するための行動を考える。</li> <li>・頭を守る物が何も無いときは、手で守る。</li> <li>・身を守るためには、安全な場所を知っておくことも必要。</li> <li>・逃げ込めそうな頑丈な建物や、倒れてくるものがない場所などを覚えておく。</li> </ul>	<p>目安時間 34:00</p>

	スライド	シナリオ	伝えたいこと	参 考
	【津波編】 津波の解説を入れる場合は、24～29までを使用してください。			
24		<ul style="list-style-type: none"> <li>地震の後には津波が来る。</li> <li>特にこの地域では津波が来ることが予想されている。</li> <li>住んでいるところは大丈夫でも、旅行や遠足で海に行っているときに、地震が起こることもある。</li> </ul>		<p>目安時間 34:30</p>
25		<ul style="list-style-type: none"> <li>津波のことを知っていますか？</li> </ul>		<p>目安時間 35:00</p>
26		<ul style="list-style-type: none"> <li>1983年5月26日「日本海中部地震」の動画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>津波の速さ、怖さ。</li> </ul>	<p>映像：日本海中部地震（約1分30秒） →画面上でクリックすると映像が流れます。 地震直後の津波の映像。 先の映像（4）の直後に襲ってきた津波。</p> <p>目安時間 37:30</p>
27		<ul style="list-style-type: none"> <li>みんなの住んでいるところは大丈夫かな？</li> <li>家が大丈夫でも、海水浴、遠足、旅行で海に行くこともあるよ！</li> <li>津波はものすごいスピードでやってくる！</li> <li>例えば50cmの津波でも動けなくなる！</li> <li>漂流物も、凶器になる！</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>津波浸水地区では、どこまで津波がくるか。</li> <li>何分後に、どのくらいの高さの津波がくるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地域の津波浸水予測を次のHPから貼り付けてください。</li> <li>■徳島県津波浸水予測図 <a href="http://anshin.pref.tokushima.jp/normal/earthquake/forecast.html">http://anshin.pref.tokushima.jp/normal/earthquake/forecast.html</a></li> <li>津波の速さ 震源に近い海・・・ジェット機くらい 陸に近づいても・・・新幹線くらい</li> </ul> <p>目安時間 39:00</p>

	スライド	シナリオ	伝えたいこと	参 考
28	<p>つなみがくるから、  ・たかいところににげるの  <small>じゃ</small>  ・つなみは何回も  <small>くりかえし</small>やってくるぞ！</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼう齋先生が教えてくれることは、とっても大切なこと！</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海にいるときに地震が起こったときの避難行動。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津波は、地震が起きてすぐやってくる場合もあれば、時間がたってからくる場合もある。</li> <li>・揺れを感じなくても、津波がくることもある。 (チリ地震津波、スマトラ沖地震津波)</li> <li>・鉄筋コンクリートの建物の3階以上も避難場所になる。</li> </ul>
				目安時間 40:00
29	<p>ひなんしたあとは？  ・もどらない  ・ぜったいに、崖を  みにいがない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・忘れ物をしても絶対に戻らない！</li> <li>・津波は繰り返し（何回も）やってくるから、絶対に戻らない！</li> <li>・6時間は避難しておく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津波の怖さの確認。</li> <li>・津波避難所や津波避難ビルを知っておく。</li> <li>・津波の際は、親を探さず、自力で避難することを普段から親と話しておく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昔は、御先祖の位牌を取りに行ったために犠牲になった人が多かった。</li> <li>・スマトラ沖地震では、数日前に学校で地震の勉強をしていた子どもの呼びかけで多くの人があつた。</li> </ul>
				目安時間 41:00

	スライド	シナリオ	伝えたいこと	参 考
30	<p>まとめ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼう齋先生が、もう一度大切なことを教えてくれるよ!</li> </ul>		<p>目安時間 38:30</p>
31	<p>「じしん」のときのやくそく</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おちつく</li> <li>・あたまをまもる</li> <li>・ひろいばしょに行く</li> <li>・きけんなばしょからはなれる</li> <li>・つなみからにげる</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんな覚えているかな?</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな地震の後に、余震が続くことがある。</li> <li>・余震も本震と同じくらいの揺れになることがある。</li> <li>・壊れかけの建物などが、余震によって更に壊れることがある。</li> </ul> <p>目安時間 42:00</p>
32	<p>いちばん大切なこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 死なない</li> <li>* 大ケガをしない</li> </ul>  <p>自分で自分のいのちをまもろう!</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一番大切なことは、自分が死なないこと。</li> <li>・大ケガをしないこと。</li> <li>・自分が元気だったら、家族や友達を助けることができる。</li> <li>・自分で自分を守ることができる人になろう!</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までぼう齋先生が言ってきたことは、最終的には、「命を守る」ためであること。</li> <li>・家族が一緒にいる時に、地震にあうとは限らない。家族の集合場所など、いつも家族で話し合っておく。</li> </ul> <p>目安時間 44:00</p>	
33	<p>じしんからいのちをまもる</p> <p>おわり</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼう齋先生との約束を忘れないで!</li> <li>・家族と話し合おう!</li> <li>・地震のことをもっと学んで、じしん奉行や、つなみ丸をやっつけよう!</li> </ul>		<p>目安時間 45:00</p>

# まなぼうさい紙芝居（デジタル版） 「じしんぶぎょうがやってきた」

## 趣 旨

これから地震のことを学ぼうとしている児童については、楽しくてわかりやすい教材が必要です。

この教材は、児童の興味を引くために、「まなぼうさいキャラクター」を登場させ、正義の味方（すく王）が悪役（じしん奉行、つなみ丸）をやっつけるという、児童が大好きなストーリーとなっています。

また、楽しみながらも、「慌てない」「落ち着く」といった、地震が起きたときにとるべき行動について、しっかりと伝えることを目的としています。

## テーマ

「地震から命を守る」

## 伝えたいこと

- ①地震が起きたときにとるべき行動
  - ・慌てない
  - ・おちつく
  - ・頭を守る
- ②津波は何回もくること
- ③日頃の備えの大切さ

## 使用方法

- ・防災授業の導入部分や、まとめとして使用してください。
- ・パワーポイントのスライドショーにより、別添シナリオを参照して上映してください。

## 必要な ソフトウェア

パワーポイント97以降のバージョンに対応。  
パワーポイントがない場合は、パワーポイントビューアで見ることができます。  
パワーポイントビューアは、無料でダウンロードができます。

## 制 作

四国大学人形劇クラブ  
（社）徳島新聞社  
saemaru（作画）



	スライド	内 容
1		<p>ナレーション 「まなぼうさい紙芝居」のはじまりはじまり～。</p> <p>【クリック】 次の画面へ</p>
2		<p>ナレーション まな坊は、ぼう齋先生のところで「坊災」の勉強をしています。「坊災」というのは、地震や台風の時にとすればいいかを・・・</p> <p>今日もふせ号と一緒にたくさん勉強したので、お腹がペコペコになりました。</p> <p>ぼう齋先生 おーい。まな坊、ふせ号。おやつ時間じゃぞ。</p> <p>【クリック】 次の画面へ（抜きながら台詞）</p> <p>まな坊 はーい。</p> <p>ふせ号 ワン。</p>
3		<p>ナレーション 近所のそなえお姉さんが、おいしいヤキイモを持ってきてくれました。できたてあつあつのホッカホカです。</p> <p>そなえ まだ熱いから、気をつけて。ふせ号もね。</p> <p>ふせ号 ワン。</p> <p>まな坊 わーい！おいそー。いただきまーす。ぱくっ。もぐもぐ・・・うっ！</p> <p>【クリック】 次の画面へ</p>
4		<p>まな坊 あっちゅちゅー！うう、あついよーっ！</p> <p>そなえ 大丈夫？</p> <p>ぼう齋先生 まな坊、そなえが「熱いから気をつけるように」と言ったじゃろう。慌てずにちゃんと人の話を聞くことも大切なのじゃぞ。</p> <p>ナレーション その様子を誰かが窓から覗いています。</p> <p>【クリック】 次の画面へ</p>
5		<p>ナレーション 地震を起こす悪者、じしん奉行です。</p> <p>じしん奉行 ふっふっふ。おっちょこちょいとは良いことを聞いたぞ。我が輩の地震スイッチを使って、奴らを驚かせてやろう。</p> <p>【クリック】 揺れる（同時に台詞）</p> <p>ガシャン！（スイッチをONからOFFへ）</p> <p>【クリック】 次の画面へ</p>



	スライド	内 容	
11		まな坊	うわああー。失敗しちゃったー。  【クリック】次の画面へ
12		じしん奉行 ナレーション じしん奉行	なんだそれは。わーはっはっはっは・・・ううっ。 ゲホゲホゲホ！  勝ち誇ったじしん奉行は、笑いすぎて咳が止まらなくなりました。  うう、わしを苦しませるとは・・・もう許さんぞ！ こうなったらあいつを呼ぶのでR。出てこい！つなみ丸！  【クリック】次の画面へ
13		つなみ丸 ナレーション	つーなーみー。  大きな大きな体に、大きな大きな声、津波を起こすつなみ丸です。大きな大きな波を起こしてやってきました。  【クリック】上へ画面移動
14		まな坊 ナレーション ぼう齋先生	うわああ。津波だー！ 【クリック】上へ画面移動  まな坊たちはびっくり。ぼう齋先生が大きな声で叫びました。  【クリック】揺れる  いかん。津波に巻き込まれたら溺れてしまうぞ！波の届かない高い所に逃げるのじゃ。  【クリック】次の画面へ
15		ナレーション つなみ丸 ナレーション まな坊 ふせ号 ナレーション ぼう齋先生 ナレーション	走って走って、みんなは津波の届かない高い所まで登りました。 つーなーみー。 どーん！（津波の音） 大きな大きな津波が襲ってきましたが、まな坊たちのいる所までは届きませんでした。 まな坊 あー。びっくりした。へっへーん。もう怖くないぞ。さあ、今度はこっちの番だ！ ふせ号 ワンワン！ 駆け下りようとするまな坊とふせ号をぼう齋先生が引き止めます。 ぼう齋先生 いかん！津波は何回も来るのじゃ！ ナレーション どーん！どどーん！ 【クリック】左へ画面移動

	スライド	内 容	
16		ふせ号 まな坊 ナレーション まな坊	ワーーン！ 大変だ！ふせ号が！ 続けて来た津波に、ふせ号がさらわれてしまいました。 誰かふせ号を助けてー！ <b>【クリック】 次の画面へ</b>
17		ナレーション すく王	その時、空から声が聞こえてきました。 大丈夫だ。俺に任せておけ！ <b>【クリック】 次の画面へ</b>
18		ナレーション まな坊 ナレーション すく王 じしん奉行 つなみ丸 すく王	すく王が空飛ぶウミガメメカに乗ってやって来たのです。 あ！すく王！ すく王は、激しい波の中からふせ号を助けると、じしん奉行とつなみ丸に向かって言いました。 みんなを困らせるなんて、ひどい奴らだ。俺が相手だ！ 生意気な奴め。つなみ丸！やっしまえ！ つーなーミー。 そうはいかないぞ。 <b>【クリック】 次の画面へ</b>
19		ナレーション すく王 つなみ丸 じしん奉行 ナレーション	つなみ丸が大きな波を起こすよりも早く、すく王が先に反撃しました。 くらえ！渦潮攻撃だ！ ううううー！ いたたたたた！こりゃかなわん。逃げるのでR。覚えていろー！ じしん奉行とつなみ丸は走って逃げていきました。 <b>【クリック】 次の画面へ</b>
20		まな坊 ふせ号 すく王 ナレーション そなえ ナレーション ぼう齋先生 ナレーション	ありがとう。すく王。 ワン。 またな、まな坊。それにみんなも元気で。 まな坊とふせ号がお礼を言うと、すく王は手を振りながら去っていきました。 また困ったときは、すく王が来てくれるかしら？ そなえが言うと、ぼう齋先生が頷きました。 そうじゃのう。しかし、日頃から一人一人が地震や津波に備えることも大事なのじゃぞ。そのことを忘れんようにのう。 <b>【クリック】 次の画面へ</b> おしまい

# まなぼうさいパネルシアター 「じしんぶぎょうがやってきた」

## 趣旨

この教材は、正義の味方（すく王）が悪役（じしん奉行、つなみ丸）をやっつけるという、「まなぼうさいキャラクター」が登場する楽しいストーリーを、四国大学人形劇クラブの学生が演じることで、児童が、防災について関心を持ち、楽しく防災について学ぶことができることを目的に作成しました。

また、楽しみながらも、「慌てない」「落ち着く」といった、地震が起きたときにとるべき行動について、しっかりと伝えるようにしています。

## テーマ

「地震から命を守る」

## 伝えたいこと

- ①地震が起きたときにとるべき行動
  - ・慌てない
  - ・おちつく
  - ・頭を守る
  - ・くつをはく
- ②津波は何回もくること

## 使用方法

- ・防災授業の導入部分や、まとめとして使用してください。
- ・このストーリーは、徳島市で南海地震を想定したものとなっています。そのため、津波（つなみ丸）の到達時間が地震後40分となっています。徳島県内でも地域によって地震後の津波到達時刻が異なりますのでご注意ください。

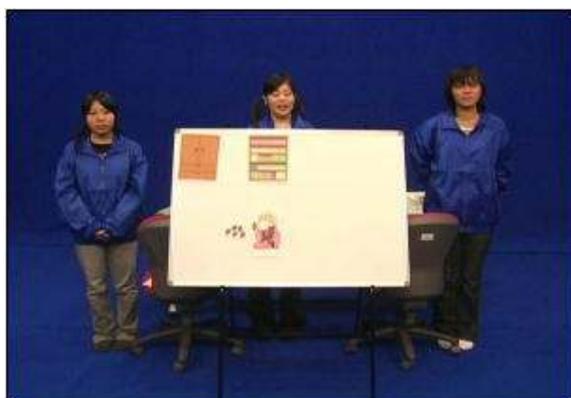
## 制作

製作・出演

四国大学人形劇クラブ  
四国大学情報学科映像メディアコース  
徳島大学環境防災研究センター  
まなぼうさいプロジェクト

監修  
主催

徳島大学環境防災研究センター  
四国大学  
徳島市災害ボランティアグループ「徳島の風」  
（社）徳島新聞社



# まなぼうさいアニメーション (自宅編・学校編・海岸編)

## 趣 旨

地震にあったその時、身を守るためにはどのように行動するべきでしょうか。まな坊やぼう斎先生と楽しく学びましょう！自宅・学校・海岸と3つの場面に対応した3本のアニメーションが収録されています。途中でクイズが出題されることもあります。正しいと思ったものを選びましょう。間違った場合は解説も表示されます。

「まなぼうさい」は徳島新聞社の防災啓発キャラクターです。アニメーションの制作は徳島文理大学人間生活学部メディアデザイン学科の学生チームが担当しました。

## テーマ

自宅・学校・海岸で地震から身を守る方法を楽しみながら学ぶ

## 伝えたいこと

- ①自宅・学校・海岸にいるときに地震にあった場合の対処方法
- ②火を使っているときの対処や漏電火災の危険、避難所へ行く際の注意（自宅編）
- ③まず身を守ることの重要性和避難時の正しい判断の重要性（学校編）
- ④地震により発生する津波の性質とその危険性、避難時の注意（海岸編）
- ⑤助け合い（共助）の重要性（共通）

## 使用方法

- ・自宅編、学校編、海岸編の中から学びたいところをクリックする
- ・次の画面へ進むには、画面内に表示されるぼう斎先生の顔のマークをクリックする
- ・クイズが出題された場合は、正しいと思う選択肢を選びクリックする

## 必要なソフトウェア

Adobe製 FlashPlayerのインストールされたインターネットブラウザ（Internet Explorer、FireFox、Safari等）  
FlashPlayerは無料でダウンロードできます（<http://www.adobe.com/jp/products/flashplayer/>）

## 制作

徳島文理大学人間生活学部メディアデザイン学科（アニメーション）  
（社）徳島新聞社  
saemaru（キャラクターデザイン）



# シロのないた海

## 趣旨

1946年(昭和21年)12月21日に発生した昭和南海地震によって、徳島の海岸沿いは津波の被害を受け、多くのひとが亡くなりたくさんの建物が壊れました。「シロのないた海」は昭和南海地震の大きな津波に襲われた浅川(海部郡海陽町)の町を題材に、徳島文理大学短期大学部教授の飯原一夫先生が絵と文を書いた物語です。アニメーションの制作は徳島文理大学人間生活学部メディアデザイン学科の学生チームが担当しました。このアニメーションで地震の後にやってくる津波の恐ろしさを知ってください。

## テーマ

前回の南海地震から津波の恐ろしさ学ぶ

## 伝えたいこと

- ①南海地震が発生すると津波がやってくる
- ②津波の高さはとても高くなる
- ③地震が来たら津波が来る前に高いところへ逃げる必要がある
- ④地震と津波の恐ろしさを次の世代に伝えることの大切さ

## 使用方法

- ・「シロのないた海」のタイトルまたは画像をクリックする
- ・視聴するパソコンの環境と利用目的に応じて、視聴したいものをクリックする(解像度の違う2種類の通常版および聴覚障害者対応の字幕版と、ナレーションのみを消去した朗読会用があります)

## 必要なソフトウェア

Adobe製 FlashPlayerのインストールされたインターネットブラウザ (Internet Explorer、FireFox、Safari等) FlashPlayerは無料でダウンロードできます (<http://www.adobe.com/jp/products/flashplayer/>)

## 制作

徳島文理大学人間生活学部メディアデザイン学科 (アニメーション)  
飯原一夫 (文・絵)



# まなぼうさいアニメーション2010

## 趣 旨

じしん奉行とつなみ丸がやってくるぞ！近い将来に発生が予想されている南海地震では、揺れや津波による大きな被害が予想されています。どのように身を守ればよいでしょうか。まな坊やぼう斎先生など「まなぼうさい」のキャラクターと楽しく学びましょう。「まなぼうさい」は徳島新聞社の防災啓発キャラクターです。アニメーションの制作は徳島文理大学人間生活学部メディアデザイン学科の学生チームが担当しました。

## テーマ

地震と津波から身を守ろう

## 伝えたいこと

- ①自宅で地震にあったときの対処
- ②津波からの避難で重要なこと
- ③津波は繰り返しやってくること

## 使用方法

- ・「まなぼうさいアニメーション2010」のタイトルまたは画像をクリックする

## 必要なソフトウェア

Adobe製 FlashPlayerのインストールされたインターネットブラウザ（Internet Explorer、FireFox、Safari等）  
FlashPlayerは無料でダウンロードできます（<http://www.adobe.com/jp/products/flashplayer/>）

## 制 作

徳島文理大学人間生活学部メディアデザイン学科（アニメーション）  
（社）徳島新聞社  
saemaru（キャラクターデザイン）



# 防災ダンス歌「じしんがきたら」

## 趣 旨

地震はいつどこで起こるかわかりません。家族と一緒にいるときに地震が起こるとも限りません。このため、子どもたちには小さい頃から常に防災の意識を持たせるとともに、一人の時に地震が起きても、自分の判断で自分の身を守ることができる方法を伝えておく必要があります。子どもたちにこれらのことをしっかりと伝えるには、知識だけではなく、体で覚えることも重要です。

この教材は、子どもたちがリズムカルな歌やダンス、手話を通して、繰り返し練習することで、地震による様々な危険から身を守る方法や、助け合うことの大切さについて、楽しみながら学ぶことができることを目的に制作しています。

## テーマ

「地震から命を守る」

## 内 容

【DVD】 防災ダンス (教材集3)  
①地震だあっ！（ショートバージョン）  
②地震だあっ！（解説）  
③地震だあっ！（フルバージョン）  
手話歌 ④いのちをまもろう（解説）  
⑤いのちをまもろう（フルバージョン）  
⑥いのちをまもろう（手話の解説）

【音楽CD】 防災ダンス歌 (教材集4)  
①地震だあっ！（フルバージョン）  
②地震だあっ！（カラオケ）  
手話歌 ③いのちをまもろう（フルバージョン）  
④いのちをまもろう（カラオケ）

## 伝えたいこと

- ①地震が起きたらどうなるか
- ②地震が起きたらどうするか
- ③仲間と協力をする大切さ
- ④津波の知識・怖さ・避難行動
- ⑤命の大切さ

## 使用方法

- ・防災授業の導入部分や、まとめとして使用してください。
- ・発表会や運動会の表現で利用してください。
- ・「地震だあっ！」は防災ダンスです。別添の振り付けを参照してください。
- ・「いのちをまもろう」は手話歌です。別添の振り付けを参照してください。
- ・DVDでダンス・手話の振り付けや解説を見ることができます。
- ・教材集4（CD）は音楽のみとなっています。

## 制 作

四国大学生生活科学部児童学科 身体表現 田村典子研究室





**じしん 地震だあつ!**  
 作詞 田村 典子  
 作詞 山上 佳子

グワグワ グワグワ (地震前)  
 そわそわ びびびび 守るよ いのち  
 命の危険が 落ちてくるぞ  
 窓ガラスも 崩れちゃうよ  
 身体は まるく ぶくぶくって(揺らめいて)  
 びびん、窓に じっと待て 避難場所待っている

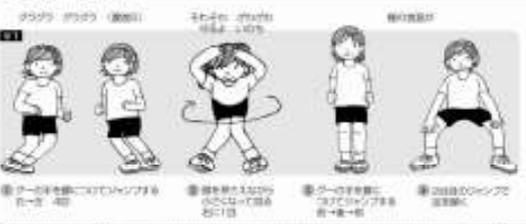
グワグワ グワグワ (地震前)  
 そわそわ びびびび 守るよ いのち  
 フロント扉が 落ちてきたぞ  
 テニスやテニスが 飛んできた  
 逃げ遅れれば チェックだ 火の元(火気はOK)  
 目を閉じて 立ち止まる あわてずに立ち止る

グワグワ グワグワ (地震中)  
 そわそわ びびびび 守るよ いのち  
 避難場所が 壊れたぞ  
 ライフラインも 壊れたぞ  
 前方で揺れる 避難場所(中央と前方)  
 地震くるまで 頑固だ 防災グッズはるる

グワグワ グワグワ (地震発生)  
 そわそわ びびびび 守るよ いのち  
 巨大な力で すべてを飲み込んで  
 地震の音では 入らぬ  
 じげんよ まるよ 安全力で 逃げればいいぞ  
 高いところに 避難しよう 防災知識必要だ

**振り解説明**

振付 田村 典子



# いのちをまもろう

作詞 石田 博之  
作詞 山上 佳子

いのち 命 自分  
また 命 みんな  
命を 守ろう 守る

あーっ 危険だ 大げさ  
危険が迫った どうするの  
どうしたらいいの 守るの

危険が迫ったら 見てちゅーなら  
上かか落ちて くるものだし  
水の元流して 入り口開けて  
ーよし よし よし よしー  
それは グー

危険が迫ったら 乳の下に  
ちくちく 落ちて 危険がちゅーと  
休みの ときに ゆっくり逃げ  
ーよし よし よし よしー  
それは グー

火の音がして 煙が立ち  
丈夫な靴はき 足元守り  
スリッパ履いたら 落ちて来る  
ーよし よし よし よしー  
それは グー

火場に落ちて 煙の匂が  
食べ物 水 携帯ラジオ  
懐中電灯 避難と  
ーよし よし よし よしー  
それは グー

いのち 命 自分  
また 命 みんな  
命を 守ろう 守る

## 振り解歌回

振り解歌回

① 火の音 聞こえる  
② 危険が迫る  
③ 火の音 聞こえる

④ 火の音 聞こえる  
⑤ 火の音 聞こえる  
⑥ 火の音 聞こえる

⑦ 火の音 聞こえる  
⑧ 火の音 聞こえる  
⑨ 火の音 聞こえる

⑩ 火の音 聞こえる  
⑪ 火の音 聞こえる  
⑫ 火の音 聞こえる

⑬ 火の音 聞こえる  
⑭ 火の音 聞こえる  
⑮ 火の音 聞こえる

⑯ 火の音 聞こえる  
⑰ 火の音 聞こえる  
⑱ 火の音 聞こえる

⑳ 火の音 聞こえる  
㉑ 火の音 聞こえる  
㉒ 火の音 聞こえる

① 火の音 聞こえる  
② 危険が迫る  
③ 火の音 聞こえる

④ 火の音 聞こえる  
⑤ 火の音 聞こえる  
⑥ 火の音 聞こえる

⑦ 火の音 聞こえる  
⑧ 火の音 聞こえる  
⑨ 火の音 聞こえる

⑩ 火の音 聞こえる  
⑪ 火の音 聞こえる  
⑫ 火の音 聞こえる

⑬ 火の音 聞こえる  
⑭ 火の音 聞こえる  
⑮ 火の音 聞こえる

⑯ 火の音 聞こえる  
⑰ 火の音 聞こえる  
⑱ 火の音 聞こえる

⑳ 火の音 聞こえる  
㉑ 火の音 聞こえる  
㉒ 火の音 聞こえる



# 防災みなみ体操

## 趣 旨

私たちは、一年間つなみやじしんについて学習しました。60年前南海じしんがこの町をおそいました。さいわいひがいは少なかったものの、近い将来大きなじしんがくると予測されています。町へのアンケートから美波町には、高齢者が多いことが分かりました。町の人全員がぶじにひなんするためには、健康な体が必要です。

そこで、小さい子から高齢者まで、だれにでもかんたんにできる防災みなみ体操を作りました。防災みなみ体操を広めたいと思ったので、DVDを作りました。

(日和佐小学校5年生)

## テーマ

「地震から命を守る」

## 内 容

【DVD】 ①「みんなで防災みなみ体操」では、児童や町民の方が「防災みなみ体操」を楽しく踊っています。

②「すわって防災みなみ体操」では、立つことに不便を感じる高齢者の方等も、すわったままで楽しく体操をすることができることをお伝えしています。

③「解説篇」では、児童が「防災みなみ体操」の踊り方を、順を追って解説しています。

【音楽CD】 音楽のみが収録されています。

(教材集4)

## 伝えたいこと

もしもの時のために、普段からの健康な体づくりが大切なこと。

## 使用方法

- ・体育の授業や、運動会の体操、地域の行事などで、ご活用ください。
- ・次ページの踊り方を参考にしてください。

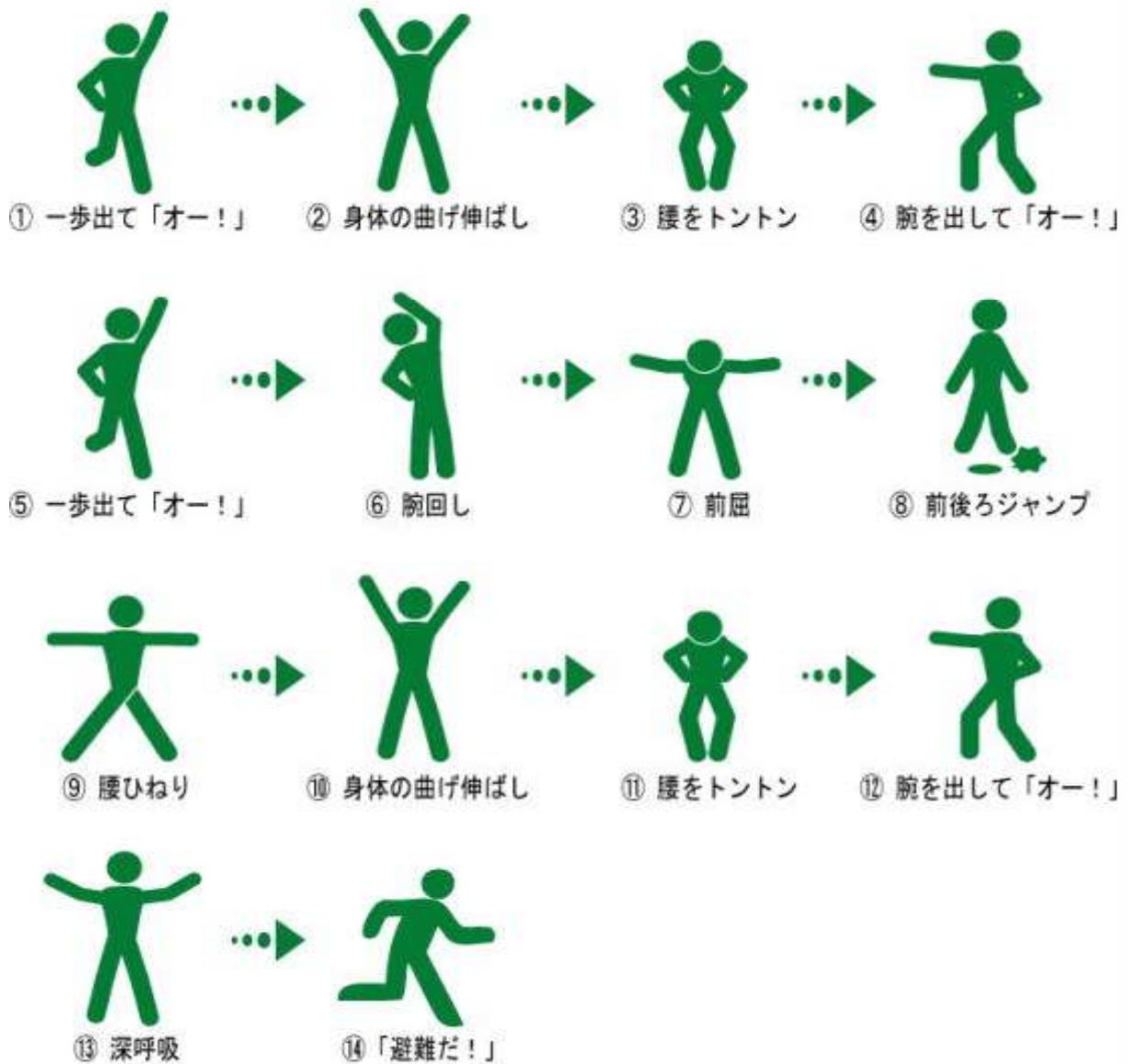
## 制 作

日和佐小学校  
美波町消防防災課



## このDVDについて

体操全体の順番は、以下の通りです。  
無理をせず、自分の体力にあわせて動きましょう。



また、「みんなで篇」と「解説篇」では、スキップ (|◀◀や▶▶|) ボタンで、場面を次に送ったり戻したりできます。

# イラストつき防災クイズブック

## 「地震がきたら」

### 趣 旨

防災に関する児童書が少ない中、児童・生徒自らが進んで読みたくなるような教材が必要です。

この教材は、親しみやすいイラストで、物語を追いながら、クイズを通して、一人でも、またグループで話し合いながらでも、楽しく考え学ぶことができることを目的に制作しました。

地震が起きてから避難までの行動や、日頃からの家庭での備えについて学ぶことができます。

### テーマ

「地震から命を守る」

### 内 容

・登場人物の「まきちゃん」「だいすけくん」「ちょび（ネコ）」に、突然現れたなまずの「クエークはかせ」が、クイズを出します。

・「クエークはかせ」が回答を解説してくれます。

- クイズ1 地震発生！君ならどうする？
- クイズ2 もし大地震がおきたら、お部屋はどうなる？
- クイズ3 どうしたら、安全なお部屋になるのかな？
- クイズ4 避難のときに役立つものは？
- クイズ5 避難のときの服そうは？
- クイズ6 マークと同じ意味のことは線を線でつなげよう！
- クイズ7 これってせいはい？まちがいは？

### 伝えたいこと

- ①地震が起きたらどうなるか
- ②安全に避難するための行動
- ③日頃から備えておくこと
- ④津波の知識

### 使用方法

- ・防災授業やグループ協議の教材として活用してください。
- ・児童生徒の読書用に活用してください。

### 制 作

四国大学生生活科学部児童学科 身体表現 田村典子 研究室



---

平成22年3月発行

**小中学校まなぼうさい教室支援事業 報告書**

**徳島県危機管理部南海地震対策課  
(県立防災センター)**

〒771-0204 徳島県板野郡北島町鯛浜字大西165

TEL : 088-683-2100 FAX : 088-683-2002

URL [http://anshin.pref.tokushima.jp/normal/disaster\\_center/index.html](http://anshin.pref.tokushima.jp/normal/disaster_center/index.html)

---